2020.6.18

# 「Camp Operations Guide Summer 2020」（American Camp Association）翻訳（日本語版監修）公開にあたり

公益社団法人　日本キャンプ協会
会長　平田裕一

公益社団法人日本キャンプ協会は、去る 6 月 4 日に、公益社団法人ガールスカウト日本連盟、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、公益財団法人東京 YWCA、公益財団法人日本 YMCA 同盟と共に「新型コロナウィルス影響下における青少年教育に関わる 5 団体による共同声明」を発表しました。
その共同声明の中で、1．新しい生活様式での青少年活動の再開、2．病気以外の感染（嫌悪・差別・偏見）の抑止、3．地域社会と連携し、人間性の回復、の 3 点を広く社会に呼びかけました。

3 つの共同声明の中でも、特に「新しい生活様式での青少年活動の再開」に向けて、この度、アメリカキャンプ協会（American Camp Association　ACA）が 5 月にホームページに掲げた「Camp Operations Guide Summer 2020」を翻訳（日本語版監修）し、公開することとしました。
今回 ACA が掲げたガイドラインは、医学・看護・感染症管理・公衆衛生等の専門家が集う Environmental Health＆Engineering、Inc（EH&E）が配信する情報を元に、キャンプを運営・管理するキャンプディレクター、スタッフに向けたリスク軽減のための情報です。

日本において、これまでの自粛期間や緊急事態宣言下の中、学校に登校することもできず、また地域の中でも外に出られない状況で家に閉じこもることを強いられてきた子どもたちや保護者に対して、自然の中で思い切り心身の解放ができる環境や活動を提供したいと思うキャンプ指導者の方々も多いことと思います。しかし、その気持ちのみで行動することは、新型コロナウィルスに対するワクチンや治療薬の開発がなされていない現状において「無知なる善意」の行動でしかありません。

今回紹介する ACA のガイドラインはあくまで 5 月中旬に発表された内容です。情報は絶えず更新されていますので、最新の情報を得て頂くようお願い致します。また、同書で得られる内容はあくまでもアメリカにおける情報です。皆さんの活動や活動エリアに置き換え、実施に向けた段階的な思考や判断、そして留意すべきポイント等を参考にして頂けると幸いです。

最後になりますが、今回の新型コロナウィルスによって、アメリカ国内を始め世界の国々で感染された方々の早期回復を願うと共に、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また昼夜に亘る懸命なる医療行為に携わる医療従事者の方々に感謝致します。今夏の活動が、「with コロナ」を意識した中で、新たな社会様式を取り入れたキャンプ活動の実践を皆で考えていく機会となることを願う次第です。

# CDCガイダンスを実践するキャンプのためのフィールドガイド

対象者：アメリカキャンプ協会および米国YMCA

作成者：Environmental Health & Engineering, Inc.
180 Wells Avenue, Suite 200, Newton, MA 02459-3328
800-825-5343

2020年5月18日

EH&Eプロジェクト #23944

**免責事項**

Environmental Health & Engineering, Inc.（EH&E）からの情報は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対処するため現在実践する配慮事項に関し、アメリカキャンプ協会および米国YMCA、関係組織を支援するガイダンスを提供することを目的としている。

提供された資料は、準備段階で入手可能な最善の情報を反映している。COVID-19が提起する独自の課題に関する理解が進めば、この資料が説明する戦略や概念は変わる可能性がある。そのため、提供または公開された情報や資料は、厳格に適用するべきではなく、また観察された条件に基づく情報に通じた専門家の判断にとって代わることもない。

これらの資料は、公共団体、民間団体、非政府機関、専門団体など、公的に入手可能な情報源からの資料に加え、前述の各分野における専門家の学識と専門知識に基づいて作成されている。現在パンデミックは進行中であり、急速に拡大しているため、EH&Eでは顧客とその関係者が公開される情報に留意し、連邦、州、および地域の医療機関からのガイダンスと政府の要請に従うよう推奨している。

EH&Eは、提供されたデータ、記載されたリソースの正確性や完全性、またこれらのガイドラインおよび推奨される習慣を厳守することで、あらゆる傷害および死亡事故が防止できるという、いかなる種類の保証もしない。また、そのような傷害および死亡事故、あるいは過失や怠慢に対して、EH&E,Inc.は一切の義務あるいは責任を負わないものとする。

## はじめに

アメリカ疾病予防管理センター（CDC）のガイダンスを実践するキャンプのためのフィールドガイドの目的は、キャンプスタッフに向けてCOVID-19を引き起こすウイルスであるSARSコロナウイルス2（SARS-CoV-2）にさらされる潜在リスクと、重症急性呼吸器症候群の感染拡大抑制に関する教育資料を提供することである。この情報は、COVID-19パンデミック[1]期間中に青少年プログラム運営やキャンプ開始を決定するにあたり、CDCが定める健康と安全に関する提案および継続的なモニタリング努力と整合するものである。**CDCキャンプ再開決定ツール**（4ページ参照）は、キャンプを再開し運営するための3つのステップを優先する。

ステップ1：キャンプの活動再開を検討しているか？
ステップ2：推奨される安全対策を実施しているか？
ステップ3：継続的に観察を行っているか？

各ステップには完了するための条件が設定され、次のステップに進む前にすべての条件を満たす必要がある。3つのステップを完了すると、継続的なモニタリングプログラムを継続しつつキャンプを再開することができる。このツールで、ステップを完了する条件を満たすために多くの情報と資料を参照している。キャンプスタッフがこのツールを使用し、運営やプログラムがCDCツールの基準に達するどうか判断するよう勧めたい。

キャンプ再開決定ツールのプロセスが実施される際の主な配慮事項は、キャンプの開始が州および地域の規制や要件に一致するかどうかである。キャンプスタッフが各々の仕事の調整を行い、キャンプの再開と運営に関わる特別な要件について理解を深めることができるよう、こうした話し合いを早めに始めることを推奨する。州および地域の衛生機関は、コミュニティにおけるCOVID-19感染レベルおよび地域の公衆衛生と医療システムの収容能力、その他関連要因に基づく、現在必要とされる緩和レベルを評価する上での指針と情報を提供することができる。

フィールドガイドに記載された提案は、全国の様々なキャンプ（例：日帰り、宿泊型、自然体験/アドベンチャーなど）や地理的ロケーションで実施できるよう考案されている。さらに、連邦政府が発行したガイダンス、「ホワイトハウス/CDCのアメリカを再開」[2]に記載される第2フェーズおよび第3フェーズで求められる基準を満たす地理的ロケーションで開催するキャンプで適用される。

---

[1] CDC. Youth Programs and Camps During the COVID-19 Pandemic. https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/Camps-Decision-Tree.pdf
[2] White House/CDC. Guidelines for Opening Up America Again. https://www.whitehouse.gov/openingamerica/

**CDCガイダンスを実践するキャンプのためのフィールドガイド**は、このCOVID-19パンデミックの期間中、以下の項目に関連した実用的な情報をキャンプディレクターおよび運営スタッフに提供するために考案されている：

・ユースキャンプの安全な開始に関する決定.
・キャンプ参加者、キャンプカウンセラーやスタッフの安全性を継続的に確保する最善策の実施.
・キャンプ期間中に安全な運営を継続的に点検するための提案.

各キャンプがガイダンス、推奨される措置を実施する場合、該当する州や地域の該当する要件や規制を踏まえるべきである。
政府機関、医療機関、学術機関、および専門業界団体から追加情報が公開されると、フィールドガイドの提案や推奨される措置はアメリカキャンプ協会（ACA）のウェブサイト上 https://www.acacamps.org/ で更新される。ACAウェブサイト上の説明は章ごとに分割されており、利用者はフィールドガイド全体を繰り返しダウンロードせずとも、更新があれば直ちに通知を受け、関連情報を容易にダウンロードすることができる。

# COVID-19 パンデミック期における青少年活動、キャンプの再開について

このツールは、現在のCOVID-19パンデミック期において、青少年活動やキャンププログラムを実施するディレクターや管理者に向けて、活動の意思決定の一助とすることを目的としています。基本的には、地元の州または地域の保健当局の状況や、各種団体の方針等を踏まえて、適切な行動するようにしましょう。 注：大規模な規制が行われている地域で、エッセンシャルワーカーがいる家庭の子どものために青少年活動やキャンププログラムを継続している場合は、"Guidance for Child Care Programs that Remain Open" を参照.

**【活動再開を検討していますか？】**

- ✓地域や自治体の青少年活動、キャンププログラムに関する大幅な規制は解除されましたか？
- ✓再開の基準が州および地方自治体の指示に準拠していますか？
- ✓青少年活動やキャンププログラムは、その地域に住む子どもやスタッフのみの参加に限定していますか？
- ✓青少年活動やキャンププログラムは、重症化リスクの高い子どもやスタッフを守る準備ができていますか？

すべての項目で「はい」 →

**どれかひとつでも「いいえ」** ↓ **再開すべきではない**

**【推奨される安全対策を実施していますか？】**

- ✓手洗いの徹底、スタッフのマスクやフェイスカバーの着用等、衛生管理を進めている.
- ✓清掃、消毒、換気を強化している.
- ✓空間確保や、少人数での活動、グループ同士が密にならないように制限するなど、フィジカル・ディスタンスを確保している.
- ✓玩具や個人の持ち物、備品、消耗品等の道具を共有しないようにコントロールしている.
- ✓安全に関するトレーニングをスタッフ全員に徹底している.

すべての項目で「はい」 →

**どれかひとつでも「いいえ」** ↓ **必要な安全対策を講じる**

**【継続的に観察を行っていますか？】**

- ✓参加者、スタッフに症状や異常がないかチェックしている.
- ✓病気にかかっている人は自宅にとどまるように勧めている.
- ✓参加者、スタッフが病気になった場合の対応を計画している.
- ✓地域当局やスタッフ、家族と定期的に連絡を取っている.
- ✓参加者、スタッフの欠席状況を常に把握し、スタッフの休暇取得について柔軟に対応している.
- ✓感染者が増えた場合に、活動を中止するための準備が整っている.

すべての項目で「はい」 →

**状況を観察しながら実施する**

**どれかひとつでも「いいえ」** ↓ **必要な安全対策を講じる**

https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/Camps-Decision-Tree.pdf を参照.



For more information, please visit CORONAVIRUS.GOV

CDC

## 目次

はじめに

第1章　キャンプ関係者とのコミュニケーションに関するガイダンス

第2章　コンテンツとガイドラインのコミュニケーション

第3章　スクリーニングと初期対応に関するガイダンス
感染拡大防止に関するガイダンス

第4章　施設管理に関するガイダンス
宿泊を伴うキャンプに関するガイダンス
遊水施設の運営に関するガイダンス

第5章　食品サービスに関するガイダンス
食堂や売店の運営に関するガイダンス

第6章　清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス

第7章　アクティビティに関するガイダンス

第8章　キャンプでの感染防止対策に関するガイダンス
基礎疾患を持つキャンプ参加者およびスタッフに関するガイダンス

第9章　交通に関する検討事項 ー キャンプ場への送迎
バスおよびワゴン車の走行に関するガイダンス

第10章　キャンプスタッフ用個人防護用具（PPE）計画

2020年のキャンプシーズンに向けて推奨されるキャンプ用品と資料

# 第1章　キャンプ関係者とのコミュニケーションに関するガイダンス

キャンプ運営者はキャンプ参加者、保護者、スタッフ、および業者と定期的に連絡を取るべきである。こうした連絡の多くは緊急を要し、機密の医療情報を含むかもしれない。加えて、運営者は標準的なコミュニケーションを促進するため、地域の保健機関（例：町や州の衛生機関）と協働し、指導を受けるべきである。以下の項目はキャンプ運営者がキャンプ開催期間中およびその前後に実践できる、コミュニケーションに関する推奨されたガイドラインである。

## 準備

- キャンプ参加者、保護者、およびスタッフのための連絡口としての役割を果たすため、医療関係者あるいは運営スタッフから少なくとも1人の適切なスタッフを指名する。指名されたスタッフ（複数可）はCOVID-19パンデミックに関連した質問や懸念に効果的に対処する準備を行う必要がある。指名されたスタッフ（複数可）は以下の項目に精通していなければならない：
  - 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に関連する医療問題。
  - リスクを軽減するため、COVID-19のパンデミックに対応してキャンプ主催者が実施する運営管理、技術管理、および個人用保護具（PPE）の管理。
  - COVID-19パンデミックに関連した最新情報。
  - COVID-19パンデミックに関連してキャンプが実施している方策と手順。
  - **最善策：**キャンプ参加者、保護者、スタッフからの質問や懸念に答えるため、信頼できる医療関係および運営スタッフの両方からなるチームを指定する。
- 計画したキャンプの運営スケジュールを関連する地域の公衆衛生機関に報告する。
- ガイドラインを作成し、配布することで、スタッフが資料に慣れ、熟読できるようにする。
- キャンプ期間中にキャンプ参加者が従うべきルールやガイドラインをキャンプ参加者の保護者に説明する文書を準備し配布する。
- アメリカ疾病予防管理センター（CDC）、世界保健機関（WHO）、あるいはその他認定済み衛生機関から関連するポスターや貼り紙を準備し、参加者に見てもらえる適切な場所に掲示する。例えば：
  - COVID-19情報
  - 手洗い
  - 咳エチケット
  - COVID-19に関連する症状
  - ウイルス拡散の防止
  - フィジカル・ディスタンシング
  - **最善策：**キャンプ参加者、保護者、スタッフと連絡を取り合うため、ウェブサイト、自動チャットサービス、電話のホットラインといったコミュニケーション用プラットフォームを準備する。

## キャンプ参加者とのコミュニケーション

### キャンプの前

注：宿泊を伴うキャンプにおいて、キャンプ前のキャンパー（キャンプ参加者）とのコミュニケーションは、ほとんどが保護者を介して行われるため、このことは適用されないかもしれない。

- キャンプ期間中にキャンプ参加者が従うべきルールやガイドラインを説明した文書を準備し配布する。
- よくある質問の回答とCOVID-19パンデミックに関連する一般的な誤解について理解を深める。
- COVID-19に関連する合併症のリスクが高いキャンプ参加者を特定し、かかりつけ医との話合いを含む特別な予防措置を講じるよう奨励および支援する。
- **最善策：**情報をキャンプ参加者に配布するため、ウェブサイト、自動チャットサービス、電話ホットラインといったコミュニケーション用プラットフォームを準備する。

### キャンプ期間中

- キャンプ開始時にキャンプ参加者が、COVID-19の感染拡大を防ぐため順守すべき行動や予防措置について少人数グループのトレーニングおよび実習を行う：
  - 手洗い、消毒の適切なタイミングとやり方
  - 様々な環境（食堂、教室、キャビンなど）でのフィジカル・ディスタンシングの実践方法
  - 警戒すべき症状、いつ、誰に報告するか
  - どんな時に家にとどまるべきか
  - 咳エチケット
  - その他キャンプならではの方策またはガイドライン
- 可能であれば、不安をかき立てる可能性のあるCOVID-19のパンデミックに焦点を当てた視聴可能なメディアの量を制限する。

### 会話

- キャンプ参加者に自分の気持ちを話すように勧める。質問したり、話を聞いてもらったりできることをキャンプ参加者に伝える。
- 冷静を保ち安心させる。何を言うかだけでなく、どのように言うかも気を配る。
- 安らぎを与える。
- 内在する不安や懸念に耳を傾ける。不安を抱えるキャンプ参加者がCOVID-19について知っていることは何か、理解するため質問を投げかける。
- 恐怖は正常で許容範囲の反応であるとキャンプ参加者に知らせる。
- 誠実で正確な情報のみを提供する。聞いたかもしれない虚偽の情報を訂正する。
  注：情報を訂正する際には、必ずキャンプ参加者に配慮する。
- 質問に対する答えが分からない場合、分からないと答える。憶測しない。CDCのウェ

ブサイトにアクセスして回答を見つける。

- ウイルスがどのように拡散し、どうすれば予防になるかをキャンプ参加者が理解しているか確認する。
- キャンプの運営が病気からキャンプ参加者を保護するため何を実行しているか伝える。
- COVID-19のパンデミックは深刻とはいえ、特に健康な若者にとって、入院や死亡は稀であることをキャンプ参加者に知らせる。
- 10代の若者や子どもたちは大人に比べ軽症で済むと考えられていることをキャンプ参加者に知らせる。
- 年齢に応じた話し方をする：[1]
  - 小学校低学年の子どもたち ：キャンプ参加者が健康でいられるよう大人たちが助け、病気になれば世話をしてくれるという適切な安心感とCOVID-19に関する事実とのバランスを取りつつ、簡潔でシンプルな情報を伝える。手洗いなど、ウイルスを防止し健康でいるために毎日行うべきステップの簡単な例を示す。「大人たちは君たちを安全に守るため一生懸命がんばっています。」というような話し方をする。
  - 小学校高学年と中学校初期の子どもたち ：この年齢層は多くの場合、本当に自分たちは安全なのか、その地域でCOVID-19が拡散すれば何が起こるのかなど質問し、自由に発言する。うわさや想像から現実を分離するための支援が必要かもしれない。ウイルス拡散を防止し人々の健康を保つため、国や州、地域の指導者たちが行っている努力について話し合う。
  - 中学校後期と高校の子どもたち ：この年齢層では、問題をより深く話し合うことができる。COVID-19に関する事実の適切な情報源を参照できるようにする。COVID-19の現在の状態について、正直で正確な事実に基づいた情報を与える。
- 特にアジア系の人や最近旅行した人に対する、偏見を軽減する。
- 答えられない質問や緩和できない恐怖感をもつキャンプ参加者を、キャンプの運営者あるいは指定された責任を担うスタッフに引き合わせる。
- 疑問や懸念を持つキャンプ参加者をフォローアップするために会話する。

[1] https://www.nasponline.org/resources-and-publications/resources-and-podcasts/school-climate-safety-and-crisis/health-crisis-resources/helping-children-cope-with-changes-resulting-from-covid-19

### ポスター/貼り紙

- CDC、WHO、その他適切な地域の保健機関からの関連するポスターや貼り紙を掲示し、病気の感染拡大を緩和する行動を奨励する：
  - COVID-19情報
  - 手洗い
  - 咳エチケット
  - COVID-19に関連する症状
  - ウイルス拡散の防止
  - フィジカル・ディスタンシング

### 感染が確認された、または疑わしい症例

ガイダンス全文は、キャンプの感染症計画（CDP）または適用されるチャイルドケア（保育）基準[2]を参照する。

- キャンプ参加者と会話する前に、相手の年齢を考慮し恐怖や懸念に対して必ず適切に対応できるようにする。
- 当然であるが、感染が確認された、または疑わしい患者と面接し、地域あるいは州の適切な保健機関と連携し、接触の追跡調査を開始する。
- 秘密保持を徹底する。感染を確認された、または疑わしい患者の名前あるいは特定につながるかもしれないいかなる情報も提供しない。

### 保護者とのコミュニケーション

#### キャンプの前

- COVID-19の感染リスクを最小限にするためキャンプが実施する注意事項と手順について、保護者に通知する。
- **最善策**：情報を保護者に配布するため、ウェブサイト、自動チャットサービス、電話ホットラインといったコミュニケーション用プラットフォームを準備する。
- COVID-19に関連する合併症のリスクが高いキャンプ参加者を特定し、特別な予防措置を講じるよう奨励および支援する。
- **最善策**：リスクが高いキャンプ参加者の保護者は、リスクを評価し参加可能かどうか決定するため、子どもを担当するかかりつけ医に相談するよう推奨する。
- COVID-19に関連する症状が出た場合、キャンプ参加者が家にとどまることの重要性を伝える。CDCの症状チェックリストを共有:
  https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/symptoms-testing/symptoms.html
- 実施予定の健康観察（例：毎日の体温測定）を保護者に通知し、同意を求める。

[2] American Academy of Pediatrics, American Public Health Association, National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education. 2019. *Caring for Our Children: National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs*, Fourth Edition. Itasca, IL: American Academy of Pediatrics.

### キャンプ期間中

- キャンプに関連するCOVID-19の最新情報を常に保護者に報告する。予防対策に関する定期的な通知やニュースレターを保護者へ送信する。必要であれば確認された、または疑わしい症例の数（もしあれば）をキャンプの対応とともに報告する。
- もしキャンプの早期終了や解散が決定された場合、その計画を通知する。

### 接触の可能性があるイベントで

- 感染を確認された、または疑わしい患者と子どもが接触していた可能性があれば、直ちに保護者に通知する。
- 子ども（たち）が何らかの症状を示している場合、直ちに保護者に通知する。
- ガイダンス全文は、キャンプの感染症計画（CDP）または該当するチャイルドケア（保育）基準を参照する。
- 以下のシナリオ用文書「コミュニケーションの例」を参照する。
  - お子さんはCOVID-19の症状の検査で陽性でした。
  - お子さんは感染を確認されたあるいは疑われる人と接触していたことが確認されました。
  - キャンプで〇〇件の症例が出ましたが、お子さんがこの患者たちと接触していたと思われる理由はありません。

## スタッフとのコミュニケーション

### キャンプの前

- スタッフにこのガイドを含む教材を渡し、研修を行う。以下の情報が含まれる：
  - COVID-19に関連したキャンプ運営の責任
  - PPEの使用を含む、職場の管理
  - COVID-19に関連して生じる、個々の役割と責任
- COVID-19に関連した合併症のリスクが高いスタッフを確認する。キャンプ運営者や医療スタッフと協力して、これらのスタッフがカウンセラーとして働いたり、キャンパーと長時間直接接触したりしてはいけないかどうかを判断する。必要に応じて、これらのスタッフのための代替的な職務を確認する。
- COVID-19に関連する症状に関し自分の健康を用心深く監視し、いずれかの症状がある場合、家にとどまることの重要性を伝える。
- 休暇についての方針を柔軟に適用する：
  - 休暇を取るまたは休暇から仕事に戻る時に、かかりつけ医の意見は不要である。
  - 従業員が病気の家族の世話をするために休暇を取ることを許可する。
- 可能な場合、自宅からテレワークをする代替案を運営スタッフに伝える。

### キャンプ期間中

- スタッフにこのガイドを含む資料を提供し、トレーニング要件を実行する。これには職場の管理に関する情報、個人防護用具（PPE）の使用を含む。
- 賃金、休暇、安全、健康、およびCOVID-19に関連する他の問題における、労働者の

懸念に配慮する。
- これらの問題に関連した懸念や質問を、いつでも運営側と話し合えるようにする。

### ポスター/貼り紙

- CDC、WHO、その他適切な地域の保健機関からの関連したポスターや貼り紙を掲示し、感染拡大を緩和する行動を奨励する。例：
  - COVID-19情報
  - 手洗い
  - 咳エチケット
  - COVID-19に関連する症状
  - 職場でウイルスを拡散しない
  - ソーシャル・ディスタンシング
  - 病気になったら家にいよう

### 業者とのコミュニケーション

- キャンプ施設への業者の接近は制限されていることを通知する。
- 業者に対し配達の頻度を減らしつつ、同時に注文された商品の需要を満たすよう依頼する。
- キャンプ期間中、すべての配達において同じ配達運転手を用いるよう、業者に依頼する。
- キャンプが中止になった場合、配達の中止、メンテナンススケジュールの調整を業者に通知する。
- 業者に対し、納入時に以下の予防措置を講じる必要を知らせる：
  - 納入者自身とスタッフおよびキャンプ参加者の間のフィジカル・ディスタンシングを保持する
  - 適切なPPE（マスクと手袋）を着用
  - COVID-19に関連する症状がある場合、配達を行わない

### 地域の保健機関職員とのコミュニケーション

- 地域の保健機関と連携し、各キャンプがCOVID-19のパンデミックに対応する意思決定の際に、戦略的支援を受けるべきである。
- キャンプに適切な一連の対策を講じるにあたり、地域の保健機関と協働する。
- 予定されたキャンプ開催について地域の保健機関に通知する。
- キャンプ参加者の長期欠席率が異常に高いならば、地域の保健機関に警告する。
  - **最善策：**必要に応じて、キャンプ参加者の長期欠席率のデータを地域の保健機関と定期的に共有する。
- 感染確認されたか疑わしい症例は直ちに地域の保健機関に通知する。
- 必要に応じてキャンプを中止または早期終了するかどうかを判断するための指針を求める。

**詳細情報：**

https://www.redcross.org/about-us/news-and-events/news/2020/coronavirus-how-to-talk-to- your-kids.html

https://kidshealth.org/en/parents/coronavirus-how-talk-child.html

https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/downloads/COVID19_Homeless-H.pdf

https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/guidance-for-childcare.html

https://www.nasponline.org/resources-and-publications/resources-and-podcasts/school-climate-safety-and-crisis/health-crisis-resources/helping-children-cope-with-changes-resulting-from-covid-19

https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/guidance-ihe-response.html

https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/guidance-for-schools.html

https://www.osha.gov/Publications/OSHA3990.pdf

https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/daily-life-coping/talking-with-children.html

# 第2章　コンテンツとガイドラインのコミュニケーション

## フィールドガイドの内容と資料

フィールドガイドは、2020年のサマーキャンプシーズン中に実践するCOVID-19の管理に関する現時点のガイダンスに対応している。これは、アメリカ疾病予防管理センター（CDC）、米国環境保護庁（EPA）、米国食品医薬品局（FDA）などの連邦政府機関から入手可能な公開情報と、米国小児科学会（AAP）やキャンプ看護協会（ACN）など非政府組織からの公開情報を参考にしている。加えて、2009年と2010年のサマーキャンプにおけるH1N1型ウイルス（H1N1）のパンデミックに対応した経験は、感染症に関するキャンプ場管理の指針となる。

## 2020年開催のサマーキャンプにおけるCOVID-19と感染症の管理

アメリカでは約8,400の宿泊を伴うキャンプ、約5,600の日帰りキャンプ、合わせて1万4,000以上のキャンプが開催されている。[1]こうしたキャンプに毎年1,400万人以上の子ども、青少年、大人が参加している。キャンプでの感染症管理は医療専門家、キャンプ場の医師や看護師などによってうまく対処されてきた過去のキャンプで一般的に実施されている。キャンプにおけるこのように優れた公衆衛生的習慣の実践は、感染症が発生する可能性を最小限に抑えることができ（予防）、流行が始まった場合も使える対策（対処）が含まれている。[2]

## 2009年のH1N1パンデミックに関する経験とキャンプにおける感染症管理

2009年4月から5月にかけて、北米で始まったH1N1型インフルエンザの大流行はたちまち世界中に拡大した。秋にワクチンが利用可能になる前に開催された2009年サマーキャンプシーズンでは、学齢期の子どもたちが過度に影響を受けた。衛生的およびフィジカル・ディスタンシングなどの対策を含む非医薬品介入（NPI）は、ウイルスの影響を軽減するための主要な手段となった。2009年6月14日、CDCはキャンプ場におけるインフルエンザ予防と管理に関するガイドラインを発表した。[3]このガイドラインには以下の4つの主要な対策が含まれる：

1. 病人の早期発見
2. 病気の間家にとどまること
3. 手指の衛生管理と咳エチケット
4. 手指消毒剤の使用を奨励

---

[1] American Camp Association. *ACA Facts and Trends*. https://www.acacamps.org/press-room/aca-facts-trends
[2] Association of Camp Nursing. *Communicable Disease Strategies for Camps*. https://campnurse.org/wp-content/uploads/2019/05/Communicable-Disease-Management-Strategies-for-the-Camp-Setting-2019.pdf
[3] CDC. *CDC Guidance for Day and Residential Camp Responses to Influenza during the 2010 Summer Camp Season*. https://www.cdc.gov/h1n1flu/camp.htm (Updated on May 17, 2010)

さらにCDCガイドラインは入院患者、重症患者、あるいは重症化するリスクが高い患者に対し抗ウイルス薬を使用するよう推奨している。抗ウイルス性予防薬は、合併症のリスクが高い患者、妊婦、医療従事者、救急隊員が感染者と濃厚接触をした場合に推奨された。
当時のCDCが報告した入手可能な情報によると、6月下旬までに、アメリカの30以上のサマーキャンプにおいて2009年H1N1型インフルエンザ流行を報告していた。[4] 7月中旬までに、約80のキャンプにおいてH1N1型インフルエンザ流行の報告があったとCDCは伝えている。[5]

### メイン州におけるH1N1パンデミックと2009年宿泊を伴うキャンプの経験 [6]

メイン州の宿泊を伴うキャンプに対するH1N1の影響に関する研究では、約半数がインフルエンザ様疾患（ILI）の症例を報告を受け、約20%がアウトブレイク（H1N1の症例が少なくとも 3 例以上確認されたと定義されたケース）を起こしていることがわかった。
H1N1パンデミックに対応して閉鎖されたキャンプはなく、キャンプ開催への影響は報告されなかった。キャンプで採用されている非医薬品介入（NPI）の方法には以下の項目を含む：

- キャンプ前に両親とのコミュニケーションを促進する
- キャンプ参加者とスタッフにH1N1に関する健康教育を実施する
- 咳エチケットおよび手指衛生管理の促進と、手指消毒剤の供給向上
- キャンプ参加者およびスタッフが病気になっている間の隔離実施計画

筆者らは、公衆衛生上のガイダンスに従い非医薬品介入（NPI）を実施することが、アウトブレイク封じ込めに効果的であると結論付けている。

### 2009-2010年H1N1キャンプ経験から学んだ教訓を2020年COVID-19キャンプ計画へ適用する

H1N1に対処したキャンプ経験から、2020年サマーキャンプにおける感染症管理に関して豊富な情報を引き出せる。非公式に公開された、学校と日帰りキャンプのためのCDCガイダンスからは、2020年キャンプシーズン用ガイダンス作成における洞察が得られる。このガイダンスは、「ホワイトハウス/CDC's Opening America Again」[7]の中で推進されているガイドラインを踏まえ、以下のステップを含む：

---

[4] CDC. *The 2009 H1N1 Pandemic: Summary Highlights*, April 2009-April 2010, https://www.cdc.gov/h1n1flu/cdcresponse.htm#CDC_Communication_Activities
[5] *CompassPoint*. Association of Camp Nursing, September 2009, Volume 19, Number 3
[6] Robinson S, et al. 2012. Pandemic Influenza A in Residential Summer Camps–Maine 2009. *Pediatric Infectious Disease Journal.* 31(6):547-50.
[7] White House/CDC *Opening Up American Again*. https://www.whitehouse.gov/openingamerica/

- 第2フェーズおよび第3フェーズにおけるキャンプをオープンするための３つのフェーズアプローチ
- コミュニティの感染拡大が類似している地域や同じ段階にある地域のキャンプ参加者やスタッフを限定する
- 非医薬品介入（NPI）を実施するための安全措置
  - 健全な衛生管理を促進する
  - 清掃、消毒および換気の強化
  - フィジカル・ディスタンシングの確立
  - 共有の制限
  - スタッフ全員のトレーニング
- 健康観察とキャンプ前のスクリーニング
  - 兆候や症状のチェック
  - スタッフ、子ども、または来訪者が病気になった場合の計画
  - 健全な運営を維持し、適用中のリスク低減戦略の実施状況を監視する。
- COVID-19陽性患者と施設運営に対するコミュニティの監視と対応

### 感染予防および管理対策を支援するグループ/感染拡大防止対策

2009-2010年のH1N1の経験を受けて、2010年にCDCが提供したガイダンスと連携して、2020年の「Guidance for Child Care Programs that Remain Open - Social Distancing Strategies,」[8]、および最近の中間文書、さらには米国小児科学会（AAP）が提供した学校に関する最近のガイドライン[9] と連携して、 小グループのサイズを確立するためのステップの実施、これらのグループの混合を制限し、大規模な集会を制限することは、2020年のキャンプシーズンに向けた重要な提言の一つである。

WHO/CDCのガイダンスにあるように、第2フェーズでは、個別のアクティビティのための50人まで（キャンプ参加者とスタッフ）のグループや特定の集団を組むことができる。

それぞれのグループや特定の集団は、他のグループや活動班から約２mの距離を保つなら、グループ同士が混ざり合うのを防ぐことができる。

グループの最大規模は、キャンプのタイプ（宿泊型、日帰り）、キャンプの開催期間、到着前のスタッフとキャンプ参加者に対するCOVID-19の検査実施能力、そしてキャンプと職員たちをより広いコミュニティから隔離するキャンプの能力によって異なる。グループでの集会について、州や地域のガイドラインに従い、疑問が生じた場合には、州や地域の公衆衛生局に相談することを勧める。

---

[8] CDC *Guidance for Child Care Programs that Remain Open - Social Distancing Strategies.* Updated 4/21/20. https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/guidance-for-childcare.html#SocialDistancing

[9] American Academy of Pediatrics, *COVID-19 Planning Considerations: Return to In-person Education in Schools.* https://services.aap.org/en/pages/2019-novel-coronavirus-covid-19-infections/covid-19-planning- considerations-return-to-in-person-education-in-schools//

このアプローチは、感染症の予防と管理のために「同心円」を確立・維持するための公衆衛生に関する枠組みと合致している。COVID-19陽性であることが疑わしい/確認された患者がいる場合、最も内側の円として、迅速に行動し隔離と感染症の監視を強化するための接触者追跡によって「濃厚接触」の「内輪」を定義する。「外円」として、活動班内およびその他のキャンプ内での「低リスク」接触の特定も同様に重要である。

小規模グループや感染拡大防止対策を用いることで、州または地域の保健機関と連携したトレーニングを受けた専門家たちにより、隔離と監視の実施を伴う接触者追跡を迅速に実施できる。非医薬品介入（NPI）およびグループ/集団対策を組み合わせれば、2020年サマーキャンプシーズン用の効果的な感染症管理計画の作成に役立つ。

## 子どもたちのCOVID-19経験に関する医療上注意事項

2020年5月8日、最近発表された医療および科学論文の考察は以下のことを結論づけている：

「COVID-19は子どもたちへの影響は低く、感染しても無症状であることが多く、重症化することは少ない。重症化した症例もあるが、非常に稀である。伝染における子どもたちの役割は不明であるが、感染する可能性は低く、かつ家族へ感染症を運び込む確率も低いということを一貫性のある証拠が示している。」

さらに、以下の考察を述べている：

「垂直伝播の直接的な証拠はなく、初期の証拠は、感染した母親と幼児の両方は他のグループよりも重症にはならなかったことを示唆している。 初期の証拠は免疫抑制がある子どもに対し大幅なリスクの上昇を示してはいないが、さらなるデータが必要である。」 [10]

現在、医療界では、小児多系統炎症性症候群と呼ばれる状態を経験している子どもの健康に注目が集まっており、COVID-19に関連して子どもたちに影響を与える稀な疾患である。この経過に関する現時点での情報を提供するため、政府の発表、報道記事、および医学文献を調査している。

## 参照先および資料

フィールドガイドのための情報は連邦および州政府機関だけでなく、非政府組織や業界団体の既存の情報源からまとめた。以下のリストは、2020年5月13日にオンラインで入手できた情報源の代表である。

[10] DTFM COVID-19 Evidence Review, May 8, 2020, https://dontforgetthebubbles.com/wp- content/uploads/2020/05/COVID-data-8th-May.pdf

### White House

Link: Guidelines for Opening Up America Again

### U.S. Centers for Disease Control and Prevention (CDC)

Link: Coronavirus (COVID-19)
Sub-pages include but not limited to the following:
Link: Interim Guidance for Administrators of US K-12 Schools and Child Care Programs
Link: Guidance for Cleaning and Disinfecting and Reopening Guidance for Cleaning and Disinfecting Public Spaces, Workplaces, Businesses, Schools, and Homes
Link: Interim Guidance for Businesses and Employers Responding to Coronavirus Disease 2019 (COVID-19), May 2020
Link: Cleaning and Disinfection for Non-emergency Transport Vehicles Link: Symptoms of Coronavirus
Link: Environmental Health Practitioners - Congregate Facilities and Shelters
Link: People Who Need to Take Extra Precautions - People at Higher Risk for Severe Illness
Link: Gatherings and Community Events - Ongoing Mitigation Guidance
Link: Gatherings and Community Events - Communications Resources
Link: Parks and Recreational Facilities - Health and Safety Considerations
Link: Parks and Recreational Facilities - Considerations for Public Pools, Hot Tubs, and Water Playgrounds During COVID-19
Link: Contact Tracing: Part of a Multipronged Approach to Fight the COVID-19 Pandemic

### U.S. Environmental Protection Agency

Link: Coronavirus (COVID-19)
Link: Information on Maintaining or Restoring Water Quality in Buildings with Low or No Use
Link: Disinfectant Use and Coronavirus (COVID-19)

### U.S. Federal Food and Drug Administration

Link: Food Safety and the Coronavirus Disease 2019 (COVID-19)
Link: Best Practices for Retail Food Stores, Restaurants, and Food Pick-Up/Delivery Services During the COVID-19 Pandemic

### Association of Camp Nursing

Link: Coronavirus COVID-19 Considerations for Camps

### American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers

Link: COVID-19 (CORONAVIRUS) PREPAREDNESS RESOURCES

## 第3章　スクリーニングと初期対応に関するガイダンス

以下の内容は、キャンプ医療スタッフが呼吸器感染症の可能性のあるキャンプ参加者やスタッフを特定するために、キャンプへの参加を許可または継続する前に使用できる3段階のスクリーニングを概説している。呼吸器感染症の症状があるキャンプ参加者やスタッフ全てがCOVID-19を持っているとは限らないが、スクリーニング手順を使えば医療を必要とする人、あるいはキャンプに参加できるか確かでない人を特定するのに役立つかもしれない。このガイダンスは、キャンプの既存の健康スクリーニング手順に追加できる。スクリーニングの3段階には、事前スクリーニング、初期スクリーニング、および継続的スクリーニングが含まれる。これらの手順に対し州および地域の規制から要件が追加される可能性があることを認識しておくことが重要である。

### 事前スクリーニング

キャンプに向かう参加者やスタッフに事前スクリーニングを行えば、到着前にそれぞれの健康状態を知ることができる。

キャンプが（保護者の助けを借りて）キャンプ参加者とスタッフの事前スクリーニングを要求する決定を下した場合、14日間自己測定する上で次のような事前スクリーニングを実施する必要がある：

- キャンプ前の14日間、自分の体温測定と記録する（体温計に関する個々の指示を参照）。
- 過去2週間に症状（摂氏38.0度以上の発熱、咳、息切れ、下痢、疲労、頭痛、筋肉痛、吐き気、味覚や嗅覚の喪失、喉の痛み、嘔吐など）があったかどうかのセルフチェックを行う。
- 過去2週間以内に、国内または国外を旅行したか調査する。
- COVID-19の診断を受けた人、検査した人、または隔離された人と濃厚接触をしたかどうか判断する。

キャンプ参加者またはスタッフの事前スクリーニング中に兆候が見つかった場合、キャンプは感染症計画（CDP）に従うか、CDPのない日帰りプログラムの場合は適切なチャイルドケア基準[1]に従い参加を許可するかどうか、決定する必要がある。キャンプは、キャンプ開始前に地域の保健機関とCDPを共有することを検討すべきである。

[1] American Academy of Pediatrics, American Public Health Association, National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education. 2019.*Caring for Our Children: National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs*, Fourth Edition. Itasca, IL: American Academy of Pediatrics. http://nrckids.org/files/CFOC4 pdf- FINAL.pdf.

事前スクリーニングおよびCDPに関する追加情報は、キャンプ看護協会（ACN）のウェブサイトに記載されている。

キャンプ環境における感染症管理
https://www.campnurse.org/wp- content/uploads/2019/05/Communicable-Disease-Management-Strategies-for-the-Camp-Setting- 2019.pdf

開催初日のためのスクリーニングフォーム例（Gaslin, 2020）
https://campnurse.org/wp- content/uploads/2020/03/Health-Screening-Form-2020.pdf

事前スクリーニングのツール：https://campnurse.org/ から入手可能

### 初期スクリーニング

初期スクリーニングは参加者とスタッフのキャンプ到着時に、ACA健康基準HW.6で推奨されている既存のスクリーニングに組み込まれるべきである。質問は事前スクリーニング手順で考慮されたものと同じである。キャンプ看護協会（ACN）は、上記のリンクでスクリーニングフォームの例を公開している。子どものCOVID-19について医療情報が更新されるに伴い、スクリーニングフォームの内容は追加情報や質問において更新される場合がある。初期スクリーニングの結果により、キャンプ参加を許可されるか、あるいは追加のスクリーニングと評価が必要かを決定する。

### 継続的スクリーニング

継続的スクリーニングは、キャンプが定める基準（例：毎日、毎週、あるいはより高い頻度）で実施されるべきである。キャンプの最初の日、キャンプのセッションやスタッフの入れ替わりがあるとき、潜在的な暴露を監視するとき、または日帰りキャンプの場合は毎日、スクリーニングの頻度を増やすことを検討する。

### 推奨される継続的スクリーニングの手順

各キャンプは継続的な評価をどのように実施するか決定できる。これらの活動は、最初の評価と同じものであってもよいし、キャンプはそれぞれの集団に適していると思われる標準化された質問と手順を独自に開発することもできる。例となる手順の概要を以下に示す。

1. COVID-19の症状について調べる個人的な質問：
   https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/symptoms-testing/symptoms.html .

2. 次に、適切に選択した体温計でキャンプの過程に従い各自の体温をチェックする。体温計に付属する説明書を参照する。参加者またはスタッフ各人は、次の人に渡す前にアルコールティッシュ（またはイソプロピルアルコール綿棒）で体温計をきれいに拭く。

3. 参加者またはスタッフがこの評価に基づいてCOVID-19を持っていると疑われる場合は、マスクあるいは布製のフェイスカバーを着用させる。症状がある患者を他人から少なくとも2m隔離する。症状がある患者用エリアは、少なくとも2m離れた医療センターの他エリアまたは別の部屋でなければならない。医療スタッフは、COVID-19が疑われる症状をもつ患者と協力しながら、N95マスク（エアロゾル発生手技用）またはマスク、フェイスシールドやその他保護メガネ、使い捨て手袋、使い捨てガウン（エアロゾル発生手技を実施する場合）を着用する必要がある。
4. キャンプの感染症計画（CDP）に従い地域の医療関係者からの指導に沿って、キャンプ運営者、保護者、および適切な医療従事者に通知する。
5. 個人の管理に関する次のステップについては、感染症計画（CDP）に従う。例えば、疑わしいまたは可能性の高い症例の管理においては、キャンプ看護協会（ACN）の感染症計画（CDP）　「対応計画および対応のはじめに」の章を参照する。

注：現時点では、COVID-19特定検査はスクリーニング手順に含まれない。

### 症例または可能性の高い症例の対応と管理

スタッフまたはキャンプ参加者がCOVID-19の可能性が高いまたは確認された症例と判断された場合、キャンプの感染症計画（CDP）の一部として事前に特定された場所で患者を隔離する。感染症計画（CDP）に記載されている手順に従い、以下の項目を考慮する：

- キャンプ参加者またはスタッフがさらなる臨床評価を認めているかを検討し、もしそうであれば、対人または遠隔医療のいずれかを介して手配する。
- キャンプ参加者またはスタッフが当座の臨床評価を必要としない場合、およびCDPが患者の帰宅を求める場合は、適切な帰宅が手配できるまで患者を隔離する。
- キャンプ参加者またはスタッフが当座の臨床評価を必要としない場合、およびCDPがキャンプ施設内で患者の隔離を求める場合（例：宿泊を伴うキャンプ）：
  - CDCの2019年新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における入院を必要としない人々のための自宅ケア実施のガイダンスに従い、
  - キャンプ運営者およびキャンプカウンセラーと共に手配し、患者の持ち物を移動させ、
  - CDPおよびフィールドガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒」に記載されている手順に従い、患者の就寝スペースを清掃する。
  - 州および地域の当局者への通知と検査の実施を検討する。

患者および疑わしい症例と参加者やスタッフとの、過去2日以上にわたる接触を確認するため、直ちに「接触者追跡」を実施することが重要である。
接触の可能性を評価し、通知することは、グループまたはキャンプ内の感染拡大を最小限に抑えるための基本的な管理対策である。CDCによると、2m以内での15分以上の交

流を濃厚接触と定義する。[2]接触者追跡は、地域の保健機関と連携して、訓練を受けたスタッフ（例：公衆衛生スタッフ、地域医療従事者、訓練を受けたボランティア）によって実施されるべきである。しかし、キャンプの医療スタッフは接触者追跡の一般的な原則を活用し、他の接触の可能性がある個人を入念に調査し始めることができる。日帰りおよび宿泊を伴うキャンプでは、該当する「グループ／生活班（世帯）」内にいたキャンプ参加者およびスタッフは症状の観察を強化する必要があり、キャンプではこのグループが他の「グループ／生活班（世帯）」またはグループへの接触を最小限に抑えることを含めた緩和措置を検討する必要がある。これには、食事、手洗いや入浴、プログラムの分離（シャドーキャンプ）が含まれる。日帰りキャンプは、診断が確認できるまで接触があった「グループ／生活班（世帯）」は家にとどまること、陽性の場合「グループ／生活班（世帯）」に感染リスクがなくなったと判断されるまで家にとどまることを求めるよう検討するかもしれない。

以下のリンクは、COVID- 19感染拡散を減らすための接触者追跡におけるCDCの基本原則を公開している。フィールド ガイドは、キャンプ内での接触者追跡に関する現段階でのガイダンスに詳細なガイダンスをCDCが追加する場合に更新される。

アメリカ疾病予防管理センター　COVID-19接触者追跡トレーニング：ガイダンス、資料、サンプルトレーニング計画　接触者の追跡における主要な CDCの推奨事項は以下の通りである：

- 接触者追跡の基本原則に常に従う。
- トレーニングを受けたスタッフまたはトレーニングを受けたボランティアのみで接触者追跡を実施する。トレーニングはキャンプ開始前に行うべきである。
- 接触者を迅速に特定し、他のキャンプ参加者やスタッフと交流しないようにする。
- 地域および州の保健機関およびキャンプ関係者全員とコミュニケーションを取る。
- **最善策**：データ管理と技術ツールを実践して、症例調査、接触者追跡、接触者のフォローアップと観察をサポートする。
- 接触者追跡プログラムの主要部分を管理し、必要に応じてパフォーマンスを改善する。

接触者追跡に関する疾病への認識レベルのトレーニングは、ジョンズ・ホプキンス大学が公開している。以下のリンクで入手できる：

https://www.coursera.org/promo/covid-19-contact-tracing

[2] https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/principles-contact-tracing.html

## 感染拡大防止に関するガイダンス

### 運営者からのコミュニケーション

- CDCの印刷物（子どもや十代の若者向けのポスターを選ぶ）を、バスルームおよびトイレの近くに掲示し、いつどのように手を洗うか注意喚起する。
- 正しい手洗い方法についてCDCビデオをトレーニングプログラムに取り入れ、上映、配布する。
- 食堂、共用エリア、キャビンなど、フィジカル・ディスタンシングを推奨する重要な場所にCDCの印刷物を掲示する。

### 手指の衛生

**手洗いと消毒をするタイミング–キャンプ参加者と一般スタッフ**

- 食べ物を食べる前（例：食堂に入る時）
- キャビンに入る時
- 病気かもしれない人と接触した後
- 頻繁に触られる場所（手すり、ドアノブ、カウンターなど）に触れた後
- トイレを利用した後
- スポーツ用品、コンピューターのキーボード、マウス、クラフト道具など、共有のアイテムを使用した後
- 咳、くしゃみ、鼻をかんだ後

### 手洗いのタイミング-厨房と食堂スタッフ

食品を準備するため既に行っている最善策が適用される。コロナウイルスは食品媒介ではないが、食品サービスの従業員が感染すると、同僚や食堂利用者にウイルスを拡散する場合がある。詳しくは「第5章 食品サービスに関するガイダンス」を参照。手袋を使用するかどうかにかかわりなく手洗いは同様に重要であり、すべての推奨事項は手袋の使用に関係なく適用される。

- 手袋を使った前後
- 食品を準備する前後、および準備中。
- 生肉、鶏肉、魚介類、卵を扱った後
- ごみに触れた後。
- トイレを利用した後
- カウンターを拭いた、あるいは化学薬品を使い他の箇所を洗浄した後
- 咳、くしゃみ、鼻をかんだ後
- 休憩の前後

### 手の洗い方

1. 手指を清潔な流水で濡らす。蛇口のハンドルを閉めて、石けんをつける。
2. 石けんを手に塗りながら泡を手につける。手の甲、指の間、爪の間で石けんをきちんと泡立てるようにする。
3. 少なくとも20秒間（「ハッピーバースデー」を2回歌えるくらいの時間）手をこすり合わせる。
4. 清潔な流水でよく洗い流す。
5. 清潔なタオルまたはエアドライヤーを使って手を乾かす。

蛇口を閉めたりトイレのドアを開けたりするのにペーパータオルを使うとよい。

### アルコール系手指消毒剤の使い方

手指消毒剤は、60%以上のエタノールまたは70%以上のイソプロパノールを含んでいる必要がある 。 手指消毒剤は、厨房と食堂スタッフにとって手洗いの代わりになることはない。

1. 片手の手のひらに製品をのせる。
2. 手をこすり合わせる。指の間、指先、手のひら、手の甲に、製品を確実に塗りつける。
3. 手が乾く（20秒程度）までこすり合わせ続ける。

### 手洗いについての誤解

- 水温は重要ではない。清潔であれば冷水と温水の効果性は等しい。
- 抗菌石けんは、通常の石けんより効果が高いわけではない。
- 固形石けんと液体石けんの効果性は等しい。
- 手が目に見えて汚れているか油まみれの場合、石けんと水はアルコール系手指消毒剤よりも効果がある。
- 水があっても石けんや手指消毒剤がない場合、水の下で手をこすり合わせ、清潔なタオルで乾かすか空気乾燥させると、ある程度の細菌を取り除くことができる。最終手段としてのみ、この方法を使用すべきである。

### フィジカル・ディスタンシング

フィジカル・ディスタンシングは、「ソーシャル・ディスタンシング」としても知られている。フィジカル・ディスタンシングは、安全に他人と交流できる感染防止対策である。しかし、時間の経過などで条件が満たされた場合でも、合体されたグループを分離する方法の代りにはならない。「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」を参照。

キャンプのため、CDCは間隔を広げることでのフィジカル・ディスタンシング、小規模グループ、グループ同士の混ざり合いを制限、実行可能であれば送迎のスケ

ジュールに時差を設けることを推奨する。[1]

## 参照先および資料


U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *When and How to Wash Your Hands.* https://www.cdc.gov/handwashing/when-how-handwashing.html

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Hand Hygiene.*

https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/hcp/hand-hygiene.html

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Handwashing: A Healthy Habit in the Kitchen.* https://www.cdc.gov/handwashing/handwashing-kitchen.html

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Life is Better with Clean Hands Campaign.* https://www.cdc.gov/handwashing/campaign.html#anchor_1569614257

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Protect Yourself.* https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/prevent-getting-sick/prevention.html

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Social Distancing.* https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/prevent-getting-sick/social-distancing.html


[1] U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Youth Programs and Camps during the COVID-19 Pandemic*. https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/Camps-Decision-Tree.pdf

## 第4章　施設管理に関するガイダンス

以下のガイダンスは、現在も進行中のCOVID-19パンデミック期間中に、キャンプ施設管理者および居住する建物や敷地の準備担当者が使用できるよう準備された。多くのキャンプはアウトドア活動への熱中や楽しさを通してキャンプ参加者が自らを豊かにすることを前提としているが、今回は注意深く安全に特別な手順を押さえなければならない。

ここに挙げられたガイダンスは、キャビンあるいは多目的ホール等の使用のための単なる準備にとどまらず、アメリカ暖房冷房空調学会（ASHRAE）とアメリカ疾病予防管理センター（CDC）が発行したガイダンスに基づいている。これは建物の運営システムと検査手順、また効果的なキャンプ施設運営を確かなものにするための情報を含んでいる。以下に提示する推奨事項は、長期的な休止または運営短縮ののち建物の使用を再開するための、ASHRAEの「感染流行後の状態」に関する指導ガイダンス[1]およびCDCガイダンス[2,3]に基づいている。

キャンプ体験の多くは基本的な換気と配管の構造を利用する住居で行われることが多いので、準備し、利用を受け入れる方法は、キャンプ参加者、キャンプカウンセラー、その他のスタッフが安全な体験をする上で重要である。多くの施設は利用者の要望に応じて自然換気を用いており、それ以上の換気は現状では難しいといえる。キャンプという生活環境の中で、空気感染が発生し拡散する可能性を最小限にする必要がある。安全なキャンプ環境を保持するには、空気の移動と換気の基本原則を遵守し、メンテナンスに取り組み、そして時には創造的な取り組みを行う必要もある。キャンプ施設の機能は向上し続けており、より高度な機械システムを利用した、局地的（部屋単位）および建物全体の換気と熱的快適性の両方をもつ他の施設があり、それについてもここで説明する。

次のガイダンスは、キャンプの開始および開催を成功させるため各アクティビティをいつ行うべきかを示すタイムライン別に分かれている。もちろん、どのキャンプも同じではないということを強調しておきたい。これは指針であり、厳密な脚本ではない。また、始まりがどれほど成功したとしても、プログラムの全体的な成功を決めるのは、継続的なメンテナンスの取り組みと達成目標の継続的検証である。

---

[1] American Society of Heating, Ventilating, and Air Conditioning Engineers. *ASHRAE Epidemic Task Force, Building Readiness, Updated May 5, 2020.* https://www.ashrae.org/file%20library/technical%20resources/covid- 19/ashrae-building-readiness.pdf

[2] U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Guidance for Reopening Buildings After Prolonged Shutdown or Reduced Operation*. https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/building-water-system.html

[3] U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Interim Guidance for Businesses and Employers Responding to Coronavirus Disease 2019 (COVID-19), May 2020.* https://www.cdc.gov/coronavirus/2019- ncov/community/guidance-business-response.html

### 一般的な提案

- すべてのキャンプ内の建物システムの運営と設営において役割を担う主要な個人および企業を含む、建物管理チームを編成することが望ましい。必要なサービス提供者は以下のタイプを含むが、これらに限定されない。
  - 身体的な環境をサポートし、施設の典型的運営に関するガイダンスを提供することを目的とした、**キャンプ経営者または運営者**。
  - 現在のシステムの状態と運営を確認し、システムを開始する準備ができていることを確認する、**メンテナンスマネージャおよびサポートスタッフ**。
  - このガイダンスの実施を通して見つかる可能性のある建物の機械システムの修理を行う社内スタッフを補助するために依頼できる**機械契約業者**。
  - 機械システムの制御を改良または修理する専門的なサポートを提供する**建築管理請負業者**。

### 開始1か月前

- すべてのキャンプ施設（給気ファン、排気ファン、シーリングファンなど）で機械システムの一覧を作り、動作状況を確認する。
- 窓とドアが開閉可能で、虫よけの網戸およびアニマルガード（動物用防御柵）が所定の位置にあることを確認する。
- 暖房、換気、冷却（HVAC）システムの一覧を作り、システムに設置した微粒子エアフィルターのタイプとMERV（最小効率レポート値）レーティングを記録する。この一覧をHVACデータと組み合わせて、必要に応じてシステムを高効率のフィルタシステムに改良する可能性を判断できる。
- デマンドベースの換気装置、エアフロー測定装置、および温度制御装置のセンサー較正を検証する。
- 現場の施設管理者が適切なスキルセットを持っていない場合、機械サービス会社と協力し、給排ファン、冷却装置、給湯器、ボイラー、ポンプなど、すべての機械システムの動作能力を点検および評価する。

### 開始の2週間前

- 給湯ボイラー、蒸気発生装置、熱交換器の制御と操作を点検し、通常運転時に求められる設定点と一致していることを確認する。施設内の水道システムの始動要件に関しては、各地方自治体に相談する。
- ボイラーおよび温水器の燃料源を点検し、スイッチが入っており使用可能であるかを確認する。これらのデバイスを使用する前に、送気管と補給空気経路が開いていることを確認する。
- セントラル空調（HVAC）システムのプログラミングを点検し、使用前後の2時間放出する。これには、排気ファンの作動と同時に屋外のエアダンパーを開けることが含まれる。
- HVACシステムコンポーネントを点検し、正常に機能することを確認する。検査には以下の要素が含まれているべきである：

- ファンベルトは適度に伸長し、空間に十分な空気の流れができる。
- 屋外のエアダンパーおよびその他のダンパーリンケージが完全に接続され、作動可能である。
- 加熱および冷却コイルバルブおよびバルブアクチュエーターが接続され、作動可能である。
-

- HVACシステムの使用スケジュールを確認し、ビルオートメーションシステム（BAS）のタイマー設定点とプログラムされた作動スケジュールを確認する。建物の現在の使用スケジュールに合わせ、必要に応じて使用スケジュールを変更する。
- HVACシステムのセットバック制御が建物のシャットダウンプロトコルの一部として以前より実装されていた場合は、そのセットバックが正常に戻されていることを確認する。
- タイマーが機能していることを確認し、BASの居住スケジュールが正しく設定され、オーバーライドが通常に戻されたらHVACシステムを使用中モードで少なくとも24時間作動させる。この期間中、セントラル空調（HVAC）システムによって補修されるエリア内の温度制御とそのエリア内の換気パラメーターの傾向を表示する。BASを通した傾向が表示されない場合、換気請負業者と協力してモニタリング機器を設置するか、適切な温度と換気制御を確認するための措置を講じる。これらの測定は、空間温度および相対湿度レベルが許容可能な設定点で制御されていることを確認する必要がある。

### 開始1週間前

- 施設内給湯器が適切な設定点で正しく作動しているか確認する。給湯器が摂氏48.8度以上に設定されていることを確認する。混合弁を装備した施設内の給湯システムでは、高温側の水温（摂氏54.4度以上）が高いとレジオネラ菌の増殖リスクをさらに減らすことができる。とはいえ、やけどをするほどの高温を防ぐために混合弁をテストする必要がある。
- 空気処理ユニットおよび床ドレーン内のすべてのドレーンパンを点検する。下水ガスを通過させないため排水トラップが必ず濡れるよう、水を満たす。
- 温水浴槽とスパを備えた施設では、シャットダウン時にレジオネラ症[4]の発生につながりかねない条件にならないよう、科学的処置によりメンテナンスされていることを確認すること。[4.]

### 開始日の前日

- 開閉可能な窓のある建物では、外気温と湿度が中程度の場合（温度範囲は 摂氏18.3度～25.5度、相対湿度は20%～75%）、すべての窓を最低4時間開ける。

[4] U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Extended Hot Tub/Spa Closures*. https://www.cdc.gov/healthywater/swimming/aquatics-professionals/extended-hot-tub-closures.html

- 天井設置のファンあるいは戦略的に（およびつまずきの危険を避けて安全に）設置されたフロアファンなど内部ファンを利用し、空気の循環を促進する。この準備期間中は、すべての排気ファンも作動させる。
- 管理棟やヘルスセンターなどHVACシステムを利用して建物を再使用する前に外の給気ダンパーを最大許容位置まで開き、再入居の少なくとも4時間前にこの操作を行うことで、「放出」する。屋外にあるエアダンパーの最大許容位置は、屋外の気温と湿度の状況によって異なるので注意する。放出モードで操作する場合、許容可能な屋内温度および湿度条件を維持する必要がある。放出完了すると、通常設計の屋外気レベルを達成するようダンパーの位置を調整できる。
- 管理オフィス、健康センター、人工換気が行われている室内には、携帯型の高効率微粒子空気（HEPA）フィルター付きの空気清浄機を設置することを検討する必要がある。こうした空気清浄機は、連続的に作動させる必要がある（24時間365日稼働）。
- 使用箇所全部（例：シャワー、シンクの蛇口など）を通して温冷給水システムを洗い流す、洗浄計画を実施する。建物洗浄の目的は、建物の配管内のすべての水を新しい水に置き換えることである。

### 営業開始日

- 開閉可能な窓のある建物では、外気温度と湿度が中程度の場合（温度範囲は摂氏18.3度～25.5度、相対湿度は20%～75%）、再使用の前にすべての窓を最低3時間開ける。
- 天井設置のファンあるいは戦略的に（およびつまずきの危険を避けて安全に）設置された補助のフロアファンなど内部ファンを利用し、空気の循環を促進する。この準備期間中は、すべての排気ファンも作動させる。

### キャンプ開催期間中

- シーズン中キャンプ施設内の良好な空気循環を保つため、HVACシステム、内部ファン、開閉可能な窓を常に使用可能な状態に維持する。
- 窓とドアの開口部を利用し、一般的な換気を最大限に行うよう努める。天気、虫、または安全性のために窓を閉めたままにしなければならない場合は、排気ファンを連続で作動させる。特に窓やドアを開ける機会が限られており、全体的な換気と温度快適性を改善する必要がある場合は、補助としてフロアファンの使用を検討する。
- HVACシステムを通常作動すると、屋外の換気放出モードを使用予定時間の前後2時間実施することを検討する。これには、排気ファンの作動と同時に屋外のエアダンパーを開けることが含まれる。理想的には、この放出モードはタイマーあるいはBASを通して実施できる。
- 使用期間中は、HVACシステムの外気率を上げる（つまり、屋外の空気の割合を増やす）ことで屋外の換気を最適化する。供給される外気の割合は、HVACシステムの冷却能力と適切な排出空気温度の調節能力に制限され、同時に湿度も制御する。

- 無人モード（少なくとも4時間連続で無人となることが予想される場合）中は、HVACシステムは最小限の外気モードで連続して作動させる必要がある。

### 暖房、換気、および空調システム-一般的なガイダンス

- HVACシステムコンポーネントを点検し、正常に機能することを確認する。検査には以下の要素が含まれているべきである：
  - ファンベルトは適度に伸長し、空間に十分な空気の流れができる。
  - 屋外のエアダンパーおよびその他のダンパーリンケージが完全に接続され、作動可能である。
  - 加熱および冷却コイルバルブおよびバルブアクチュエーターが接続され、作動可能である。
- フィルターの交換や内部の接触など空気処理装置を整備する場合、作業者は個人防護用具（PPE）の使用を考慮する。これには通常、安全メガネまたはフェイスシールドおよび手袋を使用する必要がある。
- COVID-19制御のためにダクトを洗浄する必要はないが、ほかの理由で内部ダクトの洗浄を検討している場合、実施前にさらに詳しい業界のガイダンスを参照する必要がある。

### HVACシステムのメンテナンスおよび専用エリア用濾過器

- 健康センターまたはその他特殊なエリアでのHVAC濾過器の場合、空気処理システムのろ過レベルをMERV13以上にすることを検討する必要がある。現在の濾過器の評価と空気処理ユニットの性能情報を使って、既存のファンシステムが適切な空気の流れを維持しながら新しいフィルター-の追加圧力低下を克服できるかどうか評価できる。
- HVACシステムのエアフィルターを点検し、必要に応じて新品のフィルターと交換する。エアフィルターの取り付けを点検し、フィルターが正しく取り付けられており、フィルターバンク周辺にバイパスがほとんどない、あるいはまったくないことを確認する。
- 医療機関で高効率濾過器を使用できない場合、携帯型HEPAユニットを使用して継続的な再循環を実現できる。

### 冷暖房システム

- 冷却塔を備えた施設では、レジオネラ菌発生につながりかねない条件にならないよう、科学的処置が実施され、維持されているかを確認する。
- 水冷器および冷却塔の制御をチェックして、その設定点が通常運転中に必要な設定点と一致しているかを確認する。
- 冷水系と冷却塔の状態をチェックし、適切な水位で作動し十分な冷却水が補給されているかを確認する。ポンプの作動と水の流れを点検する。
- 直接膨張型冷却コイルを装備したHVACシステムの場合、冷媒圧力を点検し、システムが適切に充電されていることを確認する。

- 温水ボイラー、蒸気発生器、熱交換器の制御と作動をチェックし、通常運転中に必要な設定点および地域の保健機関からの要件に適合した設定点となっているか確認する。燃焼器具が設置されているエリアで、地方自治体の要件に従い適切な一酸化炭素検知器が機能しているかを確認する。
- ボイラーおよび温水器の燃料源を点検し、スイッチが入っており使用可能であるかを確認する。これらのデバイスを使用する前に、送気管と補給空気経路が開いていることを確認する。

## 宿泊を伴うキャンプに関するガイダンス

キャビンにはキャンプ参加者およびスタッフ用のリビングおよび就寝スペースが設けられている。一部のキャンプ場（2段ベッドなど）では就寝密度が高くなる傾向があるので、　COVID-19拡散リスクを軽減するため就寝（寝る場所等）に関するマネジメントを行うことが重要である。

### 住居

#### 基本方針

- プログラム全体を通してスタッフのキャビン割り当ては同じメンバーを維持し、キャビン間でスタッフを入れ替えない。
- プログラム全体を通して、キャビンメンバーの名簿を作成、保管し、キャビン間でキャンプ参加者を入れ替えない。キャンプ参加者とスタッフメンバーの編成方法については「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」を参照する。
- キャビンの出入りは、そのキャビンに居住している人のみに制限する。旅行者や保護者が居住スペースでの送迎時にキャビンに入らないようにする。
- キャビンに入るときは、少なくとも60%のアルコールを含んだ手指消毒剤を使用するか、20秒以上かけて石けんと水で手を洗う必要がある。
- 共通のアイテム（カップ、寝具など）や個人の所持品をキャビンの仲間と共有しない。
- キャビンは定期的に清掃する必要がある。このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。
- 必携品を加えた任意の所持品数を制限する必要がある。
- キャンプ参加者は所持品を整理し、他のキャンプ参加者の所持品と分けて保管する。
- **ポイント**：キャンプ参加者に、所持品を収納するための収納スペース（収納ケース、小型トランクなど）を用意する。

#### 配置

- 入口に少なくとも60%のアルコールを含んでいる手指消毒剤のディスペンサーを設置するか、到着してすぐ参加者に石けんと水で手を洗ってもらう。
- アメリカ疾病予防管理センター（CDC）、世界保健機関（WHO）、その他医療機関からの関連するポスターおよび貼り紙を人の出入りが多いキャビンに掲示し、病気の拡散を減らす行動を奨励する。
  - COVID-19情報
  - 手洗い
  - 咳エチケット
  - COVID-19に関連する症状
  - ウイルス拡散の防止
  - フィジカル・ディスタンシング

### バスルーム（トイレ付きの浴室および更衣スペース）

- 共通するトイレ用品（タオル、石けん、歯磨き粉など）を共有しない。キャンプ中、洗面用品と保管容器を持参するようキャンプ参加者に指示する（例えば、洗面用トートバッグや、名札を付けた1リットル程度の透明なビニール袋など）。
- キャンプ参加者は自分の所持品を袋およびトートバッグに入れて保管し、袋およびトートバッグを指定の場所に保管する。
- 石けん、トイレットペーパー、ペーパータオルは常にバスルームに保管しておく。
- 時間をずらした入浴スケジュールを作成し、施設を一度に使用する人数を制限する。
- ごみ箱を（足で作動するフタ付きまたフタなし）トイレの出口近くに置き、ごみを簡単に廃棄できるようにする。
- CDCの手洗いガイドをバスルームに掲示し、キャンプ参加者とスタッフにいつ、どのように手を洗うかを注意喚起する。

### 宿泊

- 可能なら、ベッドの間隔を少なくとも1.8m確保する。密な配置（下記参照）で寝る場合、ベッドの間隔を1.2m確保することが好ましい。
- 可能であれば共用スペースを寝室に変え、1部屋で眠る人々の数を最小限にする。
- 互いのつま先が向き合う配置にすれば、互いの頭部/顔の位置をできるだけ遠ざけることができる。
  - 2段ベッドの場合、上の段で就寝する参加者の頭部の位置と下の段で就寝する参加者の頭部の位置を、逆向きにする。
  - 横並びのベッドの場合、参加者の頭部の位置を隣接する寝台の参加者の頭部と反対側に配置する。
  - 縦に連結したベッドの場合、各キャンプ参加者のつま先を他の参加者のつま先の近くに配置する。
- **ポイント**：特に1.8mの距離を確保できない場合、カーテン、シーツ、パーティションなどを使用して物理的な障壁を作成する。
- 乾燥機付き洗濯機で洗濯および乾燥できる寝具（例：シーツ、枕、毛布、寝袋など）を使用する。各キャンプ参加者の寝具は分離しておく。
- 各キャンプ参加者の名札をベッドに貼る。
- 子どもの肌に触れる寝具は毎週、あるいは別の子どもが使用する前に洗浄する必要がある。「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」の「洗濯」手順を参照する。
- **最善策**：別々に分類したケース、収納ボックス、または袋に余分な寝具を保管する。

### 換気

- 換気量の増加：
  - 天候が許せば窓を開けたままにしておくことで自然に換気する、または

- 暖房、換気、空調（HVAC）システム、室内およびバスルームの排気ファン、扇風機などを作動させるなどして人工的に換気する
- 人工的な換気が実施されている就寝スペースの滞在時間中は、HVACシステムを外気率が高くなるように作動して、屋外からの換気を最適化（つまり、屋外の空気の割合を増加）する。供給される外気の割合は、HVACシステムの冷却能力と適切な排出空気温度に調節する能力に制限されており、同時に湿度も制御される。健康センターあるいは隔離された人が滞在する寝室では、携帯型HEPA空気清浄機の使用を考慮する必要がある。

## 参照先および資料


U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Open Child Care Programs*. https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/guidance-for-childcare.html

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *H1N1 Flu*. https://www.cdc.gov/h1n1flu/camp.htm

NYC Health. *COVID-19: Guidance for Congregate Settings*. https://www1.nyc.gov/assets/doh/downloads/pdf/imm/guidance-for-congregate-settings- covid19.pdf

Multnomah County. *COVID-19 Guidance for Shelter Settings*. https://multco.us/novel-coronavirus-covid-19/covid-19-guidance-shelter-settings

American Society of Heating, Ventilating, and Air Conditioning Engineers. ASHRAE Epidemic Task Force, Building Readiness, Updated May 5, 2020. https:///www.ashrae.org/file%20library/technical%20resources/covid-19/ashrae-building- readiness.pdf

## 遊水施設の運営に関するガイダンス

SARSコロナウイルス2（SARS-CoV2）は、水媒介性ではない。COVID-19がプール、風呂、スパ、または水遊び場の水を通して人々に拡散されるという現時点の証拠はない。プールや関連施設の適切な運営とメンテナンスを行うなら、水中でウイルスを不活性化できる可能性が高くなる。アメリカ疾病予防管理センター（CDC）は、「飲料水、レクリエーション用水、または廃水を通じてCOVID-19に感染したことを示す証拠はない。
COVID-19が水を介して感染するリスクは低いと予想される」と述べている。ただし、湖や池などのレクレーションエリアで安全なフィジカル・ディスタンシングに従い、適切な衛生習慣を続けることが重要である。

すべての水関連のレクリエーションエリアは、以下の点を考慮する必要がある：

- CDC、世界保健機関（WHO）、その他認定された健康関連組織からのガイダンスを組み込んだ関連ポスターおよび貼り紙を、対象となる利用者の目に入る適切な場所に準備し、掲示する。例：
  - COVID-19情報
  - 手洗い
  - 咳エチケット
  - COVID-19に関連する症状
  - ウイルス拡散を阻止するための習慣
  - フィジカル・ディスタンシング

- 施設や水辺に出入りする前に、キャンプ参加者やスタッフが適切な手の衛生管理を行っているか確認する：
  - アクティビティの前後に、20秒間石けんと水で手を洗うようキャンプ参加者に指示する、または
  - アクティビティの前後に、少なくとも60%のアルコールを含む手指消毒剤を用意する。
- キャンプ参加者の安全を守るため、適切なスタッフを確保する。フィジカル・ディスタンシングを維持する努力は、既存のキャンプの安全手順（例：応急処置、心肺蘇生、1対1の交流など）には影響しない。
  - 具体的な対策：少人数グループでアクティビティに参加する。キャンプのロッカールームや更衣室、水辺エリアやプール施設に入るのを待つ間に、身体的な間隔を1.8m間隔に保つ。
  - **ポイント：**グループとアクティビティにおいてフィジカル・ディスタンシングを守ることに加え、このガイドの「第7章 アクティビティに関するガイダンス」と「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」に記載されているガイダンスを組み込む。
- 施設（例：ライフガードスタンド、手すりなど）全体の頻繁に接触する箇所の日

常的な清掃および消毒を、米国環境保護庁の消毒剤のNリストに沿って毎日行う。[1]
清掃と消毒の手順は、本ガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」に記載されている手順に従う。

- 共有する備品および器具（例：キックボード：ビート板、救命装置、プールヌードル：浮き棒など）を洗浄および消毒する。多孔質（布など、通水性のある素材）および非多孔質（石、金属、プラスティックなど通水性のないもの）素材の洗浄および消毒の手順については、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。また、該当するメーカーの推奨事項に従う。
  - 具体的な対策：可能であれば、共有する備品は効果的に清掃できる品目に限定する必要がある。
  - **次善策**：キャンプ期間中、可能であれば各参加者に本人専用の備品（例：キックボード：ビート板、フォームチューブなど）を用意して、水関連のアクティビティと救命対策のため共有する備品の量を制限する。
- 遊水施設運営においては、州および地域のガイドラインに従う。自分の状況に関して、水泳における健康ガイドラインを参考にする。[2.]

### プール

CDCの指摘によると、プールの適切な運営、メンテナンス、および消毒はCOVID-19の原因となるウイルスを不活性化する可能性がある。プールおよび遊泳エリアは、以下の手順に加え、本ガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」に記載されている手順に従い、適切に清掃および消毒する必要がある。

- 適切な消毒レベル（遊離塩素1-10ppmまたは臭素3-8ppm）およびpH（7.2-8）を維持する。
- 毎日、あるいは週単位で、殺菌性衝撃処理をプールで実施する。
- プールの運営とメンテナンスに関する地域の規制に従う。
- 公衆プールでの疾病および負傷を防ぐための推奨事項について、CDCの「モデルアクアティックヘルスコード」を参照する。

### 湖および池

COVID-19がプールや水辺の水を通して人々に感染するという現時点の証拠はない。自然の水源においては、上記および本ガイドの「第7章 アクティビティに関するガイダンス」と「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」で説明されている適切なフィジカル・ディスタンシングと良い衛生管理に従うことが最良である。

- **最善策**：水辺での活動や要件についてCOVID-19に関するCDC、WHOおよび健康関連組織の情報を確認する。

---

[1] U.S. Environmental Protection Agency. *List N: Disinfectants for Use Against SARS-CoV-2.* https://www.epa.gov/pesticide-registration/list-n-disinfectants-use-against-sars-cov-2
[2] U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *State-based Healthy Swimming Information.* https://www.cdc.gov/healthywater/swimming/states.html

### 更衣室とシャワー

多くの遊水施設ではプールや水に入る前に、シャワーを浴びる必要がある。シャワー設備の適切な清掃と消毒に加え、長期間閉鎖する場合や大幅に使用者が減少した後は、よどんだ水のレジオネラ菌の増殖リスクが高まる可能性があるので、十分に注意すること。長期間閉鎖した場合のリスクを最小限に抑えるため、以下の手順を実行すること：

- 上記および本ガイドの「第7章 アクティビティに関するガイダンス」と「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」に記載されている適切なフィジカル・ディスタンシングと良い衛生管理に従う。
- 使用箇所全部（例：シャワー、シンクの蛇口など）を通して温冷給水システムを洗い流す、洗浄計画を実施する。建物洗浄の目的は、建物の配管内のすべての水を新しい水に置き換えることである。通常の放出は、使用率が低い初期段階で考慮する必要がある。

### 個人用の救命具

- ライフジャケットとも呼ばれる個人用救命具をキャンプ参加者で共有したり、共通の場所に保管したりする場合、使用後に適切に洗浄するため以下の手順に従う。
  - 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の量を制限する。ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。アルコール系消毒スプレーをライフジャケットに吹き付け、空気乾燥させる。
  - **次善策**：ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。乾燥機を使用して、摂氏60度を超えないように温度設定し完全に乾燥させる。使用前に、ライフジャケットにアルコール系消毒スプレーをかける。
  - **最善策**：キャンプ期間中は特定の器具（例：ライフジャケットなど）を参加者それぞれに割り振り、共有する器具の数を減らす。
  - **最善策**：使用後は毎回、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒」と「第7章 アクティビティに関するガイダンス」の指示に従い、個人用救命具を清掃・消毒する必要がある。ロープやライフジャケットに漂白剤を使用しない。
- 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」で説明されている調整とともに、標準的な運営手順に従う必要がある。

### 水泳

- キャンプ参加者はグループ/小集団ごとにフィジカル・ディスタンシングを保ち、プールやその他屋外の水遊び場（例：湖、池など）に出入りする前後、適切な手の衛生管理を行う必要がある。
- 水泳アクティビティ中は、以下の対策を推奨する：
  - **ポイント**：自由に泳ぐために、各参加者が常に一緒にいる「仲間」を割り当てる水泳のバディシステムのような安全な水泳の習慣を続ける。割り当てられた仲間が同じ集団内にいることを確認する。水泳を安全に行うため、安全訓練に参加する必要がある。

- **ポイント**：往復する場合は、スイミングプールのコース幅を2.4m間隔に設置し、互いの間隔を維持しながら交代で泳ぐ。
- **ポイント**：キャンプカウンセラーとして、参加者の各グループに毎回同じインストラクターを割り振る。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」のガイドラインを参照する。

- 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」で説明されている調整とともに、標準的な運営手順に従う必要がある。

## 参照先および資料


ASHRAE. *Epidemic Task Force: Building Readiness. American Society of Heating, Refrigeration, and Air-Conditioning Engineers.* ://www.ashrae.org/file%20library/technical%20resources/covid-19/ashrae-building-readiness.pdf Updated May 5, 2020.

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Considerations for Aquatic Venues*. https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/parks-rec/aquatic-venues.html

The Swim Guide. *COVID-19 and Recreational Water Quality.* https://www.theswimguide.org/2020/03/30/covid-19-and-recreational-water-quality/

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Healthy Swimming, Aquatic Professionals*. https://www.cdc.gov/healthywater/swimming/aquatics-professionals/index.html

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Healthy Swimming, Operating Public Pools*. https://www.cdc.gov/healthywater/swimming/aquatics-professionals/operating-public- swimming-pools.html

# 第5章　食品サービスに関するガイダンス

## 運営

### 基本方針

- COVID-19の症状[1]を上司に報告するよう従業員に指示する。
- 従業員が呼吸器疾患の症状を報告した場合、家にとどまるよう指示する。
- 従業員が勤務中に症状を報告した場合、直ちに自宅に送り届ける。仕事場（症状のあった従業員の持ち場、あるいは厨房全体）を清掃および消毒し、周りの従業員がウイルスにさらされた可能性があるか考慮する。キャンプの感染症計画（CDP）に則り次のステップを実行する。
- 従業員のCOVID-19感染が確認された場合、守秘義務を守りながら、周りの従業員がウイルスにさらされた可能性があることを通知する。キャンプのCDPから次のステップを実行する。
- 病気の従業員は家にとどまるよう積極的に奨励する。

### 計画と準備

- 適切な資格あるスタッフが在庫を維持し、食品サービスの重要な職務に対応する。
- 使い捨て手袋、マスク、および清掃用品を保管する。これらの備品の配布および再補給を計画する。
- スタッフが石けん、清潔な流水、使い捨て手袋、およびマスクを使用できるようにする。石けんと水で手洗いできない場合、アルコール系手指消毒剤を使用する。
- キャンプで実施する適切な手の洗い方および管理手順についてスタッフを訓練する。
- アメリカ環境保護庁（EPA）が承認した消毒薬を保管担当者に提供する。

### 配膳と配置

- 食品サービスの従業員をスクリーニングし、毎日作業を開始する前に症状を診断する。「第3章 スクリーニングと初期対応に関するガイダンス」を参照する。
- 食堂スペースを広げるか、食堂の数を増やして、フィジカル・ディスタンスを維持する。フィジカル・ディスタンスを推奨し、間隔を広げる。
- 可能であれば、食事時間を数回に分け受け取り窓口を広げて提供し、一度に食堂エリアで食事をとる人数を減らすことができる。食事の合間に食堂エリアを清掃・消毒する。
- 屋外の座席エリアを優先し、推奨し、利用できるようにする。
- 基本的に、人口密度を半分に減らすことを目指す。たとえば、テーブルが通常8席の場合、そのテーブルでは4席のみを使用する。妥当な収容人数制限を定める。
- 最初に2週間分の席を割り当て、食事の時には同じ席を利用するようにする。
  **ポイント：**キャンプ中は、食堂利用者に席を割り当てる。

[1] https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/symptoms-testing/symptoms.html

- **最善策**：ビュッフェ式、サラダバー、セルフサービス、テーブル、カウンターサービス、その他、共同の調理道具を使用しなければならない配置は避ける。「テイクアウト」サービス（例えば弁当など）の利用を優先する。容器に詰められた、あるいはトレイに配膳された食事を取るだけで済む。
- グループごとに配膳する時は、キャンプカウンセラーかスタッフが（清潔な殺菌した手で）テーブルの料理を皆のために取り分けるよう推奨する。
- 食堂以外の場所でキャンプ参加者が食事をとることを許可し、食堂エリアの内外で食事できるようにする。
- 食事の列に並んでいる間、他人とのフィジカル・ディスタンシングを保つように促す。
- **最善策：**1.8mごとに床にステッカーを貼り、列に並ぶ位置を示す。
- 食事の前に、石けんと水で手を洗える場所を用意する。飲食施設の入り口に、アルコールを少なくとも60%含む手指消毒剤のディスペンサーを設置する。
- 厨房と食堂の両方のゴミ箱は、足で開け閉めできるゴミ箱でない場合は、蓋を開けたままにしておく。州によっては、厨房のゴミ箱は蓋を閉めた状態にすることが求められる。
- **最善策：**厨房エリアで、個人用ボトルに水を補充しない。食事には本部（主催者）が支給した飲料用グラス/カップを使用し、補充が必要な場合、新しいグラス/カップを受け取る必要がある。
- **最善策：**手洗い、フィジカル・ディスタンスの維持、割り当てられた座席の使用など、ガイドラインを示す貼り紙を掲示する。これらの資料は必要なら言語や絵を追加して表示する。
- **最善策：**テーブルやカウンターから装飾品、チラシ、器具を取り除き、効果的な清掃と衛生管理ができるようにする。
- **最善策：**調味料用ディスペンサーの使用を中止する。調理済みの食事の横に調味料の小袋または小さな容器を添える。
- **最善策：**飲料用サーバー（例：ファウンテンディスペンサー、一般的なミルクピッチャーなど）の使用を中止する。テーブルやカウンターに沿って様々なボトル入り飲料を並べ、回収できるようにする。

### 食品サービス従事者

#### 就業前（すべて最善策）

- 仕事の前にシャワーを浴びるか、入浴する。
- 爪を切って、やすりをかける。マニキュアや付け爪を取る。
- 清潔な衣服あるいは仕事の制服を着用する。
- 適切で清潔な靴を履く。

### 全般

- 病気の場合またはインフルエンザのような症状が見られる場合、仕事をしない。
- 使い捨て手袋を着用し、直接素手で食品を触らない。
- 腕時計、ブレスレット、または指輪などを身に着けない。
- マスクまたは布製フェイスカバーを着用する。
- **最善策：**使い捨てガウンまたはエプロンを着用する。
- 可能な限り、フィジカル・ディスタンスを保ち、他の食品調理スタッフとの間隔を広げる。
- 作業および休憩の前後に、少なくとも20秒間かけて石けんと水で手を洗う。トイレ後、鼻をかんだり咳やくしゃみをした後、人が触れる頻度の高い場所に触れた後、そして食べ物を準備する前、なども同様。
- **最善策：**食品調理スタッフは、手洗い中に爪ブラシを使う。
- 咳やくしゃみをティッシュで押さえ、捨てたら直ちに手を洗う。
- 目、鼻、口に触らない。

### 食品の調理

- 食品の調理と保管に関してすでに行われている最善策を実行する。コロナウイルスは食品媒介ではないが、食品サービスの従業員が感染すると、同僚や食堂利用者にウイルスを拡散する場合がある。
- 食品の安全性を確保するため、4つの重要なステップに従う：清潔に、個別に、調理し、冷やす。
- **最善策：**手袋を着用していても、その手で直接ではなく可能な限りトングやスプーンなどの清潔な器具を使って食品を扱う。

### 食品接触面の清掃と消毒

- 石けんや洗剤、水を使用して、使用後の食品接触面（食器類、調理器具、トレイ、食品調理台、飲料用備品など）を洗浄し、すすぐ。
- **最善策：**食品の調理前に、食品接触面を消毒する。使用されている消毒剤が「新型コロナウイルスSARS-COV-2に対して使用するEPA承認抗菌性製品」に記載されており、食品接触面にも安全であることを確認する。メーカーの指示に従う。
- 食器類や器具は空気乾燥させる。タオルで拭かない。
- 食器洗い機がメーカーによる仕様書の範囲内で作動しており、適切な水温、洗剤、殺菌剤が使用されていることを確認する。

### 非食品接触面の清掃と消毒

- 厨房および食堂エリアの頻繁に触れる食品に接触しない箇所は、少なくとも1日1回清掃と消毒を行う。
- **最善策：**食堂エリアは、毎回の使用前後に清掃と消毒を行う。
- 厨房と食堂エリアの食品とは触れない部分でも人が頻繁に手を触れる箇所（例：カウンター、テーブル、椅子、コーヒーポットのハンドルなど）は毎日

清掃および消毒する。
- **最善策：**頻繁に触れる表面は、毎回の使用前後に清掃と消毒を行う。
- 硬い非多孔質（石、金属、プラスティックなど通水性のない素材）の表面が汚れている場合、洗剤または石けん水で清掃および消毒する。
- 以下を使用して、硬い非多孔質の表面を消毒する：
- ・新型コロナウイルスSARS-COV-2に対して使用するEPA承認抗菌性製品。
- ・希釈した家庭用漂白剤。4リットルの 水に対し大さじ5杯（カップ1/3）の漂白剤または1リットルの水に小さじ4杯の漂白剤を加える。アンモニアベースの溶液と併用しない。溶液に異物が入っている場合、またはppmが州のガイドラインを下回った場合、毎日新しい漂白剤ベースの溶液を混合する。
- ・少なくとも70%以上のアルコールを含むアルコール系溶液。
- 使用中も実施可能な限り頻繁に洗浄および消毒を行う。
- 柔らかいまたは多孔質（布など、通水性のある素材）の表面（例：布張りの座席、座席カバーなど）が目に見えて汚れている場合、適切な洗剤を使って洗浄する。
- 柔らかいまたは多孔質の表面は新型コロナウイルスSARS-COV-2に対して使用するEPA承認抗菌性製品を使用して消毒する。
- 頻繁に触れる電子機器の表面（例：機器の制御パーツ、照明など）が汚れている場合、電子機器に適した製品を使って洗浄する。
- メーカーの推奨事項に従い、電子機器の表面を消毒する。なければ、70%以上のアルコールを含むアルコール系溶液を使用する。
- 洗浄および消毒の後、または目に見えて汚れた場合、手袋、マスク、ガウン/エプロンを取り外して廃棄する。
- 洗浄および消毒を実施した直後（および休憩を取る前）、石けんと水を使用して少なくとも20秒かけて手を洗う。手を洗う場所がない場合、アルコール系手指消毒剤を使用して手を消毒する。
- 使い捨てのガウンを着用していない場合、適切な範囲でなるべく高温の湯を使って衣服（および制服）を洗濯し、完全に乾燥させる。汚れた洗濯物を扱った後、直ちに手を洗う。
- 詳細については、「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」に従う。

### 食事をとる時

- 病気の場合またはインフルエンザのような症状が見られる場合、食事に参加しない。直ちにキャンプカウンセラーに知らせ、キャンプ場の保健室に行く。
- 20秒間石けんと水で手を洗うか、または食堂エリアに入る際にアルコールを60%以上含んだアルコール系手指消毒剤を使う。
- ハンドル、ドアノブ、テーブル、カウンターなど人が頻繁に触れる面をできるだけ触らないようにする。
- 料理を取る時は、備品に触って戻さないようにする。
- 可能な限りフィジカル・ディスタンスを保ち、他の人との間隔を広げる。
- 可能であれば、毎食同じ席、またはその近くに座るようにする。

- 選べる状況であれば、屋外または人のまばらなエリアで食事をする。
- 並んでいる時、フィジカル・ディスタンスを保ち、自分と他人との間隔を広げる。
- 咳やくしゃみは、きちんとしたエチケットで対応する。ティッシュまたはナプキンの使用後は廃棄し、直ちに手を洗う。
- 目、鼻、口にさわらない。
- **最善策：**できるだけ手ではなく食器を使って食事をする。

**詳細情報：**

https://www.cdc.gov/foodsafety/newsletter/food-safety-and-Coronavirus.html

https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/organizations/cleaning-disinfection.html

## 食堂や売店の運営に関するガイダンス

以下の項目は、食堂の運営や売店での買い物中にCOVID-19の接触リスクを低減するためのガイダンスと手順を示す。

### 運営

#### 基本方針

- COVID-19の症状[1]を上司に報告するよう従業員に指示する。
- 従業員が呼吸器疾患の症状を報告した場合、家または宿泊施設にとどまるよう伝えて、保健センターに報告し、隔離に関するガイダンスに従うよう指示する。
- 従業員が勤務中に症状を報告した場合、直ちに自宅に送るか、健康センターに連絡する。仕事場の清掃および消毒を行う。健康センターに通知し、キャンプの感染症計画（CDP）に従う。
- 「第3章　感染拡大防止に関するガイダンス」で指定された、グループ区分に則ったスケジュールで食堂を利用し、事前に決められたグループごとに売店で買い物できるようにする。

#### 計画と準備

- 食堂の場所を管理するため、トレーニングを受けた資格あるスタッフの名簿を保管する。
- 使い捨て手袋、マスク、および清掃用品を保管する。これらの備品の配布および再補給を計画する。
- スタッフが石けんと清潔な流水、またはアルコール系手指消毒剤、使い捨て手袋、およびマスクを使用できるようにする。
- キャンプで実施する適切な手の洗い方および管理手順についてスタッフを訓練する。
- 米国環境保護庁（EPA）が承認した消毒剤を保管担当者に提供する。[2]

#### 運営と配置

- 従業員をスクリーニングし、毎日仕事を開始する前に症状を評価する。「第3章 スクリーニングと初期対応に関するガイダンス」を参照する。
- 可能なら、購入者とレジ係の間にパーティションを作り、代金、お釣り/デビットカード、商品などを渡すため仕切りの下部に渡し口を設ける。現金や硬貨の交換を避けるため、別の支払い方法を考案する（例えば、指定された期間の終了時にまとめて決済する口座引き落としの実施）。
- 可能であれば屋外エリア（ピクニックエリアや展望台など）に商品を設置し販売する。

[1] U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Coronavirus Disease 2019 Symptoms*.
[2] U. S. Environmental Protection Agency. *List N: Disinfectants for Use Against SARS-CoV-2.*

- 必要に応じて、数カ所のレジを使用してレジ係がフィジカル・ディスタンスを保てるようにする。
- すべての購入者が互いに約1.8mのフィジカル・ディスタンスを維持できる収容人数制限を定める。この適切な密度を管理するための人数制限について購入者に告知するための貼り紙を掲示する。
- **最善策：**1.8mのフィジカル・ディスタンスを保つよう買い物客に呼びかける貼り紙を掲示する。必要に応じて、多言語および図を加えた資料を用意する。
- **最善策：**支払いに並ぶときどこに立つか示すため、1.8m間隔に床にステッカーを貼る。
- **最善策：**床に矢印ステッカーを貼り、食堂内を一方通行で歩くように誘導する。
- **最善策：**各人がフィジカル・ディスタンスを維持できる適切なスペースがない限り、食堂内あるいは付近の座席を取り除く。
- 食堂で調理された食品を提供しない。すべてあらかじめ包装されている食品を販売する。
- 利用者が出入りする際に使用できるように、食堂出入口に少なくとも60%のアルコールを含む手指消毒剤を入れたディスペンサーを設置する。
- ゴミ箱を食堂の出口の近くに置き、足で操作できるフタ付きゴミ箱でない限りは、フタを開けたままにしておく。
- **最善策：**テーブルやカウンターから装飾品、チラシ、器具を取り除き、効果的な清掃と衛生管理ができるようにする。
- **最善策：**利用者との接触を減らすため、なるべく混雑しない時間帯やピーク時の後にまとめて作業する。
- **最善策：**食堂の利用者数を制限するために、クリック&コレクト（ネットで注文）、配送、電話注文などを含め、キャンプ前後に土産やグッズを遠隔で購入できる方法を提供する。指定されたピックアップエリアを設置する。

### 支払い

- 電子決済端末/クレジットカード・リーダーをレジから離れたところに移動し、可能なら購入者とレジ係との距離を広げる。
- タッチレスの支払いオプションが利用可能な場合、それを使用するよう購入者に勧める。現金、クレジットカード、モバイルデバイスの取り扱いを最小限にする。
- 紙幣および硬貨を受け渡す場合：
  - 直接手渡しするのではなく、カウンターに現金を置くよう購入者に求める。
  - 購入者にお釣りを返す際は、カウンターに直接お金を置く。
  - 清算時には、キャンプ参加者のグループごとに消毒用ウェットティッシュでカウンターを拭く。
- または、参加者が口座を準備し「キャンプ中の購入」を前払い決済できるようにするか検討する。従業員は、文書またはオンラインの元帳を使用しキャンプ参加者の口座へのクレジット/引き落としを追跡できる。

### 食堂および売店のスタッフ

### 就業前（すべて最善策）

- 仕事の前にシャワーを浴びるか、入浴する。
- 清潔な衣服あるいは仕事の制服を着用する。

### 全般

- 病気の場合またはインフルエンザのような症状が見られる場合、仕事をしない。
- 使い捨て手袋を着用し、現金、カード、商品に直接手が触れないようにする。現金、デビットカード、クレジットカードなどを扱った後、顔をさわらない。
- 利用客がいる場合、マスクを着用する。
- できるだけ食堂内の職員同士が、少なくとも1.8mのフィジカル・ディスタンスを維持する。
- 仕事および休憩の前後、またはトイレを使用したり、鼻をかんだり、咳をしたり、くしゃみをしたり、人が頻繁に触れる箇所に触れたりした後に、少なくとも20秒以上石けんと水で手を洗う。
- 咳やくしゃみをティッシュで押さえ、捨てたら直ちに手を洗う。
- 目、鼻、口にさわらない。

### 清掃・洗浄および消毒

- フィールドガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。

### キャンプ参加者とスタッフ、利用者

- 病気の場合およびインフルエンザのような症状が見られる場合、食堂に来ないようにする。直ちにキャンプカウンセラーに知らせ、キャンプ場の保健室に行く。
- 食堂に入る時、少なくとも60%のアルコールを含むアルコール系手指消毒剤を使用する。
- ハンドル、ドアノブ、テーブル、カウンターなど頻繁に触れられる表面をできるだけ触らないようにする。
- 目、鼻、口に触らない。
- 製品に触れたり、棚に戻したりしない。
- 可能な限り、自分と他の購入者との間に約1.8mのフィジカル・ディスタンスを維持する。
- 支払いを待つ時は、自分と他の人との間に1.8mのフィジカル・ディスタンスを維持する。
- 咳やくしゃみをティッシュで押さえ、捨てたら直ちに手を洗う。
- 可能な場合はいつでも、タッチレス決済を使用する。現金、クレジットカード、モバイルデバイスの取り扱いを最小限にする。
- 紙幣および硬貨を受け渡しする場合は、レジ担当者に直接手渡しするのではなくカウンターに現金を置く。後で顔にさわらない。

## 参照先および資料

The Food Industry Association. *COVID-19 Cleaning and Disinfection for Human-Touch Surfaces*. https://www.www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/organizations/cleaning-disinfection.html

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Cleaning and Disinfection for Community Facilities*.

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Grocery & Food Retail Workers*.

ServSafe. *Food Safety Training and Resources*.

# 第6章　清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス

キャンプでのコロナウイルス拡散を最小限に抑えるため、正しい清掃方法を実践することで、キャンプ参加者およびスタッフへのリスクを軽減することができる。清掃方法は、アメリカでの幼稚園から高校までの管理者向けガイダンスや、チャイルドケア・プログラム[1]におけるCDCガイダンスなどの、アメリカ疾病予防管理センター（CDC）の指針に従う必要がある。[2.]

基本的な清掃手順で推奨される方法として、洗浄と消毒の2段階[3]がある。「洗浄」とは、洗剤と水で洗い、土壌、有機物、および一部の微生物を表面から除去することである。洗剤と水による洗浄後の「消毒」では、アメリカ環境保護庁（EPA）が認可した消毒剤を使用する。この消毒剤は、製品メーカーのガイドラインに従い使用する必要がある。SARS-CoV2に対し使用できるEPAの消毒剤リストは以下で参照できる：

https://www.epa.gov/pesticide-registration/list-n-disinfectants-use-against-sars-cov-2.

希釈した漂白剤は、EPAに承認された消毒剤の代わりに使用できる。幼児用玩具など、口に入る可能性のあるものには消毒剤を使用しない。洗浄用品の詳細については、以下の「洗浄液の選択と準備」を参照すること。

### 清掃頻度を高める[4]

#### 共用スペース

- 具体的な対策：公共スペースの清掃・洗浄および消毒は、1日1回以上行う。
- **最善策**：共有スペースを使用するグループが交代するたび清掃・洗浄および消毒を実施する。もしグループ・アクティビティのスケジュールにより、十分な時間をかけ完全な消毒をした表面に消毒剤が残留してはならない場合、洗浄後の消毒は実行できないことがある。

#### 共用備品

- 具体的な対策：使用するたびに共有品を洗浄および消毒する。
- **最善策**：可能な限り個人に備品を割り当て、共有する数を減らす。同様に、使用するたびに洗浄および消毒する。

---

[1] https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/guidance-for-schools.html

[2] https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/reopen-guidance.html..

[3] Cleaning and Disinfection for Community Facilities: Interim Recommendations for U.S. Community Facilities with Suspected/Confirmed Coronavirus Disease 2019 (COVID-19). https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/disinfecting-building-facility.html

[4] Cleaning recommendations should follow at a minimum Appendix K of American Academy of Pediatrics, American Public Health Association, National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education. 2019. *Caring for Our Children (CFOC): National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs*, Fourth Edition. Itasca, IL: American Academy of Pediatrics.

### 頻繁に接触がある場所

- 具体的な対策：頻繁に接触がある場所を、少なくとも1日1回は公共スペースを清掃および消毒する。
- **最善策**：頻繁に接触がある場所および共用スペースを毎日複数回清掃および消毒する。

頻繁に接触がある場所は、例えばテーブル、噴水式水飲み場、ドアノブ、手すり、照明のスイッチ、カウンター上部、キャビネットのハンドル、机、電話、キーボード、洗面所、蛇口および洗面台を含む。その他のキャンプ参加者およびスタッフが頻繁に接触する場所は、少なくとも1日1回、できれば1日に数回、清掃および消毒する必要がある。

プラスチックまたは金属製の屋外構造物の洗浄は、キャンプ場の通常の洗浄方法により実施できる。柵や手すりなど屋外で接触が多い場所は、より頻繁に洗浄することを勧める。遊具やベンチなど屋外にある木製の表面は、キャンプ場の慣例的な方法によって洗浄し、必要に応じて目に見える汚れを落とすためより頻繁に洗浄する。

### 更衣室/ロッカールーム

- 具体的な対策：頻繁に接触がある他の場所と同じく、更衣室またはロッカールームは毎日清掃および消毒する。
- **次善策**：更衣室またはロッカールーム内の接触が多い場所は、1日に2回以上清掃する。
- **最善策**：更衣室またはロッカールームの接触が多い場所は、使用者が変わるごとに清掃する。

### トイレ、シャワー、洗面所

- 具体的な対策：頻繁に接触があるほかの場所と同様に、トイレ、シャワー、および洗面所は毎日清掃および消毒する。
- **次善策**：トイレ、シャワー、洗面所などの接触が多い箇所は、1日に1回以上清掃および消毒を行う。
- **最善策**：トイレ、シャワー、洗面所など接触が多い場所は使用者が変わるごとに清掃および消毒を行う。

### 清掃スタッフ用個人用保護具（PPE）

PPEの要件を満たすために、使用する製品の安全データシート（SDS）を必ず参照すること。

- 具体的な対策：希釈した漂白剤を含む洗浄液を準備する際、保護メガネと手袋を着用する必要がある。

- **次善策**：保護メガネ、使い捨て手袋、ガウン/エプロンは、ゴミの処理を含む清掃プロセスのすべての作業において着用する。
- 完了したら、すべての清掃スタッフは周囲を汚さないように注意しながら、最初にガウン/エプロンを取り外す。次に手袋を、内側からつかみ、裏返しながら外す。石けんと水で少なくとも20秒間、十分に手洗いする。石けんと水がないか、手が明らかに汚れていない場合、アルコール含有量が60～95%のアルコール系手指消毒剤を使用する。ただし目に見える汚れが手についた場合は、必ず石けんと水で手を洗う。

## 洗浄方法

### 洗浄液の選択と準備

洗浄する場合、そのまま使えるあるいは水で希釈する一般的な家庭用洗剤で十分であり、メーカーの指示に従い使用する必要がある。

消毒の場合、コロナウイルスに特化した、「新型ウイルス性病原体」への効果をうたった接触時間が1分未満でよい製品を使用する。製品の有効期限を過ぎていないか確認する。消毒剤を使用できない場合、約1リットルの水に対して小さじ4杯の漂白剤を混ぜた、希釈した漂白剤を使用できる。[5.]

多くの消毒剤は、皮膚や呼吸器に対し刺激を与える。非営利認証機関であるGreen Seal（グリーンシール）は、次の有効成分を持つ製品を選ぶよう推奨する：

- 過酸化水素
- クエン酸
- 乳酸
- エチルアルコール（エタノール）
- イソプロピルアルコール（70%）
- 次亜塩素酸

注：EPAのリストに記載されている製品の多くには、第4級アンモニウムまたは次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤として知られる）が含まれている。これら2つの成分を含む洗浄剤を一緒に使用したり、連続して使用したりしないこと。つまり、1種類ずつ使用する。消毒剤製品は、子どもたちの手が届かない場所に保管し、メーカーが用意したガイドラインに従い使用する必要がある。

[5]See Appendix J, Selecting an Appropriate Sanitizer or Disinfectant in AAP, 2019, *Caring for Our Children (CFOC): National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs*, Fourth Edition. Itasca, IL: American Academy of Pediatrics.

### 洗浄剤スプレー溶液の作り方

1. 洗浄剤スプレーボトルを準備するスタッフは、保護メガネ/ゴーグルと手袋を着用する必要がある。
2. メーカーの指示に従い、希釈が推奨されている場合には、適切な量の洗剤溶液と水をスプレーボトルに充填する。じょうごを使えば、こぼれや飛散を減らすことができる。
3. スプレーキャップを交換し、油性マーカーを使って洗剤ボトルに内容物のラベルを付ける。
4. 清掃・洗浄作業を実施するスタッフ全員に洗剤メーカーの指示を知らせ、該当する安全データシートをファイルに保管しておく必要がある。

### 消毒スプレー溶液の作り方

1. 消毒剤スプレーボトルを作るスタッフは、保護メガネ/ゴーグルと手袋を着用し、メーカーの指示に従う必要がある。
2. メーカーの指示に従い、希釈が推奨されている場合は適切な量の消毒液と水をスプレーボトルに充填する。じょうごを使えば、こぼれや飛散を減らすことができる。
3. 希釈した漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）溶液は、約1リットルの水に対し小さじ4の漂白剤を加えて使用する。
4. スプレーキャップを交換し、油性マーカーを使って消毒ボトルに内容物のラベルを付ける。
5. 洗浄作業を実施するスタッフ全員に消毒剤メーカーの指示を知らせ、該当する安全データシートをファイルに保管しておく必要がある。

### 非多孔質（石、金属、プラスティックなど通水性のない素材）の基本的な洗浄方法

1. 清掃スタッフは保護メガネおよび使い捨て手袋を着用する。
2. 洗剤を使った洗浄液を使用して、非多孔質の箇所から15～20センチ離してスプレーし、清潔なペーパータオルで（またはメーカーの指示に従い）拭き取り目に見える汚れがあれば取り除く。
3. 消毒剤を塗布する前に、表面が乾いていることを確認する。
4. 消毒剤メーカーの指示を確認し、濃度、塗布方法、必要な接触時間を記録する。これは製品や洗浄活動の種類によって異なる。
5. 指示された時間だけ消毒剤を表面に残し、ペーパータオルで拭き取る。
6. 洗浄作業が完了したら、上記の「**清掃スタッフ用個人用保護具（PPE）**」の項で説明した通り、最初にガウン、次に手袋を取り外し廃棄する。PPEの項に記載されているように、石けんと水で少なくとも20秒間手を慎重に洗う。水がなく、目に見える汚れが手に付着していない場合手指消毒剤を使う。
7. 再利用できるエプロンまたは作業服は、使用後洗濯してから使う。

### 多孔質（布など、通水性のある素材）面の基本的な洗浄方法

CDCでは、ラグやカウチなど柔らかい多孔質の備品を取り除くかまたは減らすよう推奨する。こうした素材は、洗浄および消毒がより困難なためである。

現時点では、EPAが承認した多孔質の面において使える製品は多くない。有効成分として第4級アンモニウムと過酸化水素水が入っている製品が確認されているが、これらの成分はトレーニングを受けたスタッフが慎重に使う必要がある。また一部の製品メーカーの使用指示書には、カリフォルニアでの使用が承認されていないと記載されている。

1. 洗浄作業中は、保護メガネと手袋を着用する必要がある。
2. まず目に見える汚れがある場合それを取り除き、多孔質の箇所に使用するよう指定された適切な洗剤で洗浄する。
3. 洗濯できる場合は、メーカーの指示に従い、製品に適したできる限り高い水温を設定し、製品を完全に乾燥させる。下記の「洗濯」の項を参照する。
4. それ以外の場合、多孔質の面に適した消毒剤を使用する。注：一部の多孔質表面が消毒剤による洗浄に適していない場合、できるだけきれいに洗浄した後、3日間の使用および接触禁止を示す貼り紙をする。

### COVID-19が確定あるいは疑わしい症例が出た場合の対処方法

感染者（または感染が疑われる人）が施設を訪問または使用してから7日以上経過している場合、清掃および消毒を追加する必要はなく、定期的な清掃・洗浄および消毒を続行すればよい。7日未満の場合、感染者（または感染が疑われる人）が使用したエリアを閉鎖し、以下の項目を実施する：

- 可能であれば、ドアと窓を開け、その場の空気循環を促進する。
- 呼吸による飛沫が収まるまで、最大24時間または可能な限り待ってからその場所の清掃と消毒を行う。屋外の施設や器具は、直ちに清掃してもよい。
- 感染者（または感染が疑われる人）が使用していたすべての場所を清掃および消毒する。清掃中に換気システムを作動させる。
- 感染源となる可能性のある領域（例：感染した参加者のキャビンやベッドなど）を消毒する際、専用の洗剤と消毒剤を使用する。清掃用具は、完全に洗浄および消毒するまで、他の場所の清掃には使用しない。
- COVID-19の患者が建物（例 :食堂、ジム、ベッドなど）またはキャンプの活動エリアに少なくとも15分間滞在したと思われるなら、清掃を強化するよう推奨する。

COVID-19が疑われる場合または確認された場合、以下の強化清掃手順に従う必要がある：

- 最初に、目に見える汚れのある箇所を清掃してから、消毒を行う。具体的な清掃方法については、上記の項を参照する。「非多孔質の表面に対する一般的な清掃」および「多孔質の表面に対する一般的な清掃」。注：消毒の際は、コロナウイルスに特化した「新型ウイルス性病原体」への効果をうたう、接触時間が1分未満でよい製品が推奨される。製品が有効期限を過ぎていないか確認する。
- 可能であれば、再汚染の懸念がある再使用可能な布ぞうきんではなく、使い捨ての雑巾/ペーパータオルを使用して表面を拭く。すべての清掃・消毒用品（例：ペーパータオル、クロスワイパー、スポンジ、モップヘッドなど）はすべて、使用後に密封できる袋または容器に廃棄する。
- 各エリアでは、手すり、ドアノブ、キャビネットおよび引き出しのハンドル、共用スポーツ器具またはクラフト用具などの接触が多い箇所に特に注意を払う。
- キャンプ参加者の宿泊施設周辺の全方位36mまでの範囲にある、すべての水平面と接触が多い箇所に焦点を当てて清掃・消毒を行う。トイレ全体とすべての共有スペースおよびアクティビティエリアを含む、感染者（または感染が疑われる人）が訪れ、使用または滞在したと特定されたエリアを清掃および消毒する。これには、工具、スポーツ器具などと共に、手すり、屋外のドアノブ、キャビネットのハンドル、洗面所のドアノブなど共通エリアにある接触の多い備品が含まれる。
- 感染源となる可能性のあるエリアを消毒する際、専用洗剤と消毒剤を使用する。これらの清掃用品は、完全に洗浄および消毒されるまで他の場所の清掃には使用しない。
- 感染源となる可能性のあるエリアを掃除する際、入り口から最も奥にある場所へと進み、消毒された面を再汚染しないようにする（つまり、自分が出る方向へ向かって清掃する）。
- カーペット敷きの床、ラグ、カーテンなど柔らかい多孔質の表面も、多孔質の表面に対する前述の手順を使って清掃する。注：一部の多孔質表面が消毒剤による洗浄に適していない場合、できるだけきれいに洗浄した後、3日間の使用および接触禁止を示す貼り紙をする。

### 個人防護用具（PPE）

- 清掃スタッフは、強化清掃プロセスのすべての作業（ごみの処理を含む）において、保護メガネ、使い捨て手袋、マスク、ガウン/エプロンを着用する必要がある。
- 手袋およびガウン/エプロンは、使用する消毒剤製品に適したものである必要がある。
- マスクは使い捨てで、強化清掃にのみ使用する。
- 使用している洗剤/消毒剤や飛沫の危険性に応じて、フェイスシールドなど追加のPPEが必要になる場合がある。
- 着用者とその周辺が汚染されないように、手袋とガウン/エプロンは慎重に取り外す。手袋を外した後、必ず手を洗う。
- 感染者（または感染が疑われる人）がいた部屋や場所を清掃した後は、手袋を外す必要がある。手袋を外した後、直ちに手を洗う。

- 清掃スタッフは、PPEの破損（例：手袋の破れなど）やウイルス接触の可能性があれば直ちに上司に報告する必要がある。
- 清掃スタッフは、手袋を外した直後および感染者（または感染が疑われる人）に接触した直後など、20秒間石けんと水で手を洗う必要がある。石けんと水がなく目に見える汚れが手についてない場合、アルコール含有量が60～95%のアルコール系手指消毒剤を使用する。ただし目に見える汚れが手についた場合は、必ず石けんと水で手を洗う。

### その他さまざまな清掃

#### 食堂/カフェテリア

上記の「第5章 食品サービスに関するガイダンス」、および非多孔質の表面に対するガイダンスを参照のこと。

### キーボード、ノートパソコン、電子機器の洗浄

- 電子機器の洗浄については、メーカーの指針に従う。
- 洗浄および消毒が可能なカバーの使用を推奨する。
- タッチスクリーン式の電子機器の消毒には、アルコール拭きまたは70%以上のアルコールを含むスプレーを使用できる。

### 共有器具

- 手で触れることの多い備品の共有を最小限にするため、個人が使う用具（例えば絵を書く筆など）は数を十分に用意し、または1つの参加者グループが一度に使用する備品や器具を制限し、使用するたびに洗浄および消毒を行う。
- 最低限：共有備品は、少なくとも1日1回洗浄および消毒する必要がある。
- **次善策**：共有備品は、1日数回洗浄および消毒する必要がある。
- **最善策**：共有備品は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。

### 遊具

- 最低限：遊具は、少なくとも1日1回洗浄および消毒する必要がある。
- **次善策**：遊具は、1日数回洗浄および消毒する必要がある。
- **最善策**：遊具は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。

### 洗濯

- 他の洗浄作業と同じように、洗濯するときは手袋およびガウン/エプロンの着用を推奨する。マスクの使用も推奨する。
- スタッフは、ウイルスの付着した粒子が空気中に拡散する可能性を最小限に抑えるため、洗濯物を振らないようにする。
- 多孔質（布など、通水性のある）素材に適した消毒剤の使用を奨励する。メーカーの指示に従う。例：Lysol Laundry Sanitizer（ウイルスを不活性化するための方法については、15分間つけ置きする、など、メーカーの説明書の指示をよく確認

する。）

- メーカーの指示に従い洗濯物に適した最も高い水温を設定し、適切に洗濯したら完全に乾かす。
- 洗濯物を移動するためのカゴやカートは、その素材に応じて、前述の硬質か軟質の素材に関する洗浄方法に従い、洗浄および消毒する。
- スタッフやキャンプ参加者が使用するフェイスカバー類は、定期的に洗濯する必要がある。使用済みのフェイスカバー類は、洗濯するまでは密封可能な入れ物（ゴミ袋など）に集めておく必要がある。

一般的に、スタッフはキャンプ参加者の持ち物を触らないようにする。もし参加者の持ち物を扱う必要がある場合、必ず手袋を着用する。もし可能であれば、使い捨ての手袋を推奨する。手袋が使用できない場合、スタッフはキャンプ参加者の持ち物を扱う直前直後に手を清潔にする必要がある。

### 検査

- 具体的な対策：EPA承認の洗剤および消毒剤の使用、CDC推奨の清掃手順、および清掃および補充の記録を保守することにより、適切な清掃作業が実施されているかを確認する。
- **次善策**：ポータブルATPふき取り検査を実施して、清掃状況を監査する。
- **最善策**：コロナウイルスの存在を研究所で分析するための環境用ふき取り検査を実施する。

ふき取り検査のサンプル採取は、拭き取り検査において、採取したサンプルが、清掃の効果を検証するのに十分な条件を満たすよう、正しいサンプリング方法・計画によってのみサンプル採取すること。

### 詳細情報：

American Academy of Pediatrics, American Public Health Association, National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education. 2019. *Caring for Our Children: National Health and Safety Performance Standards; Guidelines for Early Care and Education Programs*, Fourth Edition. Itasca, IL: American Academy of Pediatrics. http://nrckids.org/files/CFOC4 pdf- FINAL.pdf.

UCSF Institute for Health & Aging, UC Berkeley Center for Environmental Research and Children's Health, Informed Green Solutions, and California Department of Pesticide Regulation. 2013. *Green Cleaning, Sanitizing, and Disinfecting: A Toolkit for Early Care and Education*, San Francisco, CA: University of California, San Francisco School of Nursing. https://cerch.berkeley.edu/sites/default/files/green_cleaning_toolkit.pdf

# 第7章　アクティビティに関するガイダンス

以下は、キャンプのアクティビティに参加するにあたり、キャンプ参加者およびスタッフがCOVID-19に感染するリスクを低減するためのガイダンスと手順である。ここで説明するアクティビティは、すべてを網羅しているリストではありません。ここに記載のないアクティビティには、キャンプ参加者やスタッフがCOVID-19に感染するリスクを低減するため、本ガイダンスに基づき最小限の変更を加えることができる。キャンプのアクティビティは、屋内や屋外においても、グループのフィジカル・ディスタンスやアクティビティの対象グループ、また適切な衛生環境を守れる人に限定する必要がある。アクティビティごとに推奨される行動基準については、本文書の最後にある表を参照のこと。

## 管理

### 一般的なガイダンス

- キャンプ参加者およびスタッフは、エリア制限のためフィジカル・ディスタンスを保持することが現実的に無理な室内アクティビティでは、布製のマスクを着用する。
- できるだけ屋外でアクティビティを行うことを推奨する。
- スポーツおよび身体を動かすアクティビティを選択する場合、「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」で説明されているように、キャンプ参加者のグループとアクティビティ対象グループを決める必要がある。アクティビティ対象グループは、アクティビティにおいてフィジカル・ディスタンスを保つ必要がある。
  - **最善策**：すべてのアクティビティにおいて、グループを少人数に保ち、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」に記載されているとおりに安全精度を高める必要がある。
- キャンプ参加者とスタッフが適切な手洗いを実践していることを確認する：
  - アクティビティの前後に、20秒間石けんと水で手を洗うようキャンプ参加者に指示する、あるいは、
  - アクティビティの前後に、少なくとも60%のアルコールを含む手指消毒剤を用意する。
- 共有されるすべての備品および器具（例：弓矢、テニスラケット、オール、アート用品）は使用するたびに確実に洗浄および消毒する必要がある。多孔質（布など、通水性のある素材）および非多孔質（石、金属、プラスティックなど通水性のない素材）の備品の洗浄および消毒の手順については、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。
  - 具体的な対策：可能であれば、共有器具は効果的に清掃できるものに限定する必要がある（例：柔らかい多孔質のハンドルではなく、硬い非多孔質のハンドルを持つスポーツ用具が望ましい）。
  - **次善策**：キャンプ期間中は可能であれば、参加者それぞれに各自専用の用具（例：ライフジャケット、アート用品など）を提供して、アクティビティ用の共有備品と用具の数を制限する。

- 可能な場合、スタッフと参加者のグループを固定できるように、アクティビティのスケジュールと計画を検討する。フィールドガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」を参照する。
- キャンプ参加者は噴水式水飲み場、水差しにおいて使い捨てカップを使用する必要がある。利用グループが変わるたびに、スタッフが蛇口を消毒する必要がある。詰め替えできる自分専用ボトルの使用を推奨する。

### ポスター/貼り紙

- アメリカ疾病予防管理センター（CDC）、世界保健機関（WHO）、およびその他健康関連組織のポスターや貼り紙を適切な活動エリアに掲示し、病気の広がりを抑える行動を奨励する：
  - COVID-19情報
  - 手洗い
  - 咳エチケット
  - COVID-19に関連する症状
  - ウイルス拡散の防止
  - フィジカル・ディスタンシング

### 安全性

#### 一般的な安全性

- キャンプ参加者の安全を守るため、適切なスタッフを確保する。既存のキャンプでの安全手順（例：応急処置、心肺蘇生[CPR]、スタッフとキャンプ参加者との1対1の交流、水泳の「バディシステム」など）などにおいてもフィジカル・ディスタンスを保つ努力を怠ってはならない。
- スタッフが病気の場合、または個人的な理由で帰宅する必要がある場合など、主要なスタッフがいないときには代理になれる資格あるメンバーの名簿を作成する。
- 緊急処置を要する場合、フィジカル・ディスタンスを維持できない場合などでは、通常のキャンプ手順に従い、CDC、国家安全保障会議、およびアメリカ赤十字社の第一対応者および被害者のための指針に従う。[1,2]

### 応急処置およびCPR

- アクティビティの途中に応急処置やCPRが必要な場合、州やコミュニティの消防・救急医療機関からの情報や指示考慮し、その手順に従うのが最善である。
  - CDC、EMS臨床医および医療第一対応者向けの推奨事項
  - アメリカ赤十字社、コロナウイルス（COVID-19）：生徒の予防および安全に関する情報

[1] National Safety Council. https://www.nsc.org/work-safety/safety-topics/coronavirus/interim-cpr-guidelines
[2] American Heart Association.https://cpr.heart.org/en/resources/coronavirus-covid19-resources-for-cpr-training

  - アメリカ心臓協会、CPRトレーニング＆蘇生に関するコロナウイルス（COVID-19）の資料およびCOVID-19流行中の医療従事者のための暫定ガイダンス

- すべてのスタッフは、キャンプの運営と安全計画についてトレーニングを受ける必要がある。すべての自動体外式除細動器（AED）、救急キット、および監視所に適切な表示を配置する必要がある。

### 屋外でのアクティビティ

アクティビティを選択および計画する場合は、上記の「管理 」の項の「一般的なガイダンス」を参照のこと。

### スポーツおよび射撃アクティビティ

- キャンプ中は、接触の多い器具の共有を制限し、可能であればキャンプ参加者やグループに専用の使用器具を割り当てる。
- すべての屋外器具および施設は、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」に記載されているガイドラインに従い、定期的に清掃・洗浄する必要がある。
  - 具体的な対策：すべての共有器具（例：弓矢、テニスラケットなど）は、使用後またはプログラム終了直後に洗浄する必要がある。1日の終わりに洗浄および消毒を行う場合、すべてのスポーツおよび射撃器具に対しても実施する必要がある。
  - **次善策**：可能なら、キャンププログラムで個人専用の器具をキャンプ参加者に提供する。すべての器具（例：弓矢、テニスラケットなど）は、毎回使用後、直ちに洗浄および消毒する必要がある。1日の終わりに洗浄および消毒を行う場合、すべてのスポーツおよびアクティビティ器具に対しても実施する必要がある。
- 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」で説明されている調整とともに、標準的な運営手順に従う必要がある。

### 水遊びと小型ボート

新型コロナウイルス（SARS-CoV2）は、水による媒介はみられていない。COVID-19がプールや遊泳エリアの水を通して人々に拡散する可能性があるという現時点での確証はない。これらの施設の適切な運営と水質保全（塩素や臭素を使う消毒を含む）することによって、水中のウイルスを不活性化することができる。

### プール運営

- プールの適切な運営、水質保全・消毒は、COVID-19の原因となるウイルスを不活性化させる可能性がある。このガイドの「第4章 施設管理に関するガイダンス」で説明されている手順を参考に、以下の手順に従い、プールを適切に清掃・洗浄および消毒する：
  - 適切な消毒レベル（100万個の遊離塩素につき1～10個、または3～8ppmの臭

素）およびpH（7.2～8）、または地域および州の健康ガイドラインに基づく適用基準を保持する。
  - 公共プールでの病気や負傷を防ぐための推奨事項については、CDCの「モデルアクアティックヘルスコード」を参照する。また、CDCは「COVID-19流行中公共プール、温水浴場および遊水施設のための提案」を発表している。
  - プールの運営とメンテナンスに関する州やコミニュティの基準に従う。

### 水泳

- キャンプ参加者はグループごとにフィジカル・ディスタンスを保ち、プールやその他屋外の水遊び場（例：湖、池など）に出入りする前後に適切な手の衛生管理を行う必要がある。
- 水泳アクティビティ中は、以下の対策を推奨する：
  - **最善策**：自由遊泳には、水泳のバディシステムのような各参加者が常に一緒にいる「仲間」を割り当てる安全チェックシステムを続ける。割り当てられた仲間が同じ活動グループのメンバーであることを確認する。水泳を安全に行うため、安全訓練に参加する必要がある。
  - **最善策**：往復する場合は、スイミングプールのコース幅を約2.5m間隔に設置し、互いの間隔を維持しながら交代で泳ぐ。
  - **最善策**：参加者の各グループにはキャンプカウンセラーとして毎回同じインストラクターを割り当てる。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」のガイドラインを参照する。
- 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」で説明されている調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

### 小型ボートのアクティビティ

- キャンプ参加者とインストラクターは、小型ボートのアクティビティ（例：カヤック、パドルボードなど）の前後に、フィジカル・ディスタンシングと適切な手指の衛生管理手順に従う必要がある。
- 毎回、グループの参加メンバーを固定するため、アクティビティスケジュールを調整し、各グループに同じインストラクターを割り振ることを検討する。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」の推奨事項に従う。
- 共有および使用済みのすべての備品（例：オール、ライフジャケット、ボート）は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。清掃用品および器具については、メーカーの指針または業界の推奨事項に従う。[3]
  - 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数量を制限する。ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。アルコール系消毒スプレーをライフジャケットに吹き付け、空気乾燥させる。
  - **次善策：**ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。乾燥機を使用して、60℃を超えないように温度設定し完全に乾燥させる。使用前に、ライフ

[3]Life Jacket Association. COVID-19 Virus: Cleaning & Storing your Life Jackets, https://www.lifejacketassociation.org/life-jackets/covid-19-virus-cleaning-storing-your-pfd/

ジャケットにアルコール系消毒スプレーをかける。
  - **最善策：**キャンプ期間中は特定の器具（例：ライフジャケットなど）を参加者それぞれに割り当て、共有する器具の数を減らす。

  - **最善策**：このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」の指示に従い、ボートの通常接触がある箇所を毎使用後、消毒する。ロープやライフジャケットに漂白剤を使用しない。
- 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」で説明されている調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

**乗馬アクティビティ**

- 乗馬アクティビティの参加者およびスタッフは、フィジカル・ディスタンシングや手洗いに関する適切な手順に従う必要がある（例：アクティビティ前後の手洗いなど）。
- 毎回グループの参加メンバーを固定するためアクティビティスケジュールを調整し、各グループに同じインストラクターを割り当てることを検討する。
- 馬具（サドル、手綱など）はハイド/レザーで作られており、中性洗剤と水を使い、乗り手が交代するごとに適切に洗浄する。ヘルメットは、非多孔質（石、金属、プラスティックなど通水性のない素材）および多孔質（布など、通水性のある素材）に適した洗剤を用い洗浄および消毒する。他のすべての共有および使用済み器具は、使用するごとに洗浄および消毒する必要がある。このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照すること。
  - 具体的な対策：すべての共有器具（例：馬具、ヘルメットなど）は、使用またはセッション直後に洗浄する必要がある。1日の終わりにすべての馬具とヘルメットを洗浄および消毒する必要がある。
  - **次善策**：各乗り手に、本人専用の乗馬用手袋とヘルメットを用意する。
  - **最善策**：このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」に記載されている安全精度を高めながら、グループを少人数サイズにする。

**野外アクティビティ**

- キャンプ外の人との接触が予想される野外アクティビティは延期または中止すべきである。参加者グループでのグループ旅行は、キャンプ場外のレクリエーションエリアに行く日帰り旅行（例：カヌー旅行、マウンテンバイクなど）に限定する。
  - 具体的な対策：車での旅行に代わる徒歩、自転車、またはその他の方法で移動するアクティビティを検討する。車、ワゴン車、またはバスでの移動する場合は布マスクが使用できるかを確認する。
- キャンプ参加者とインストラクターは、野外活動中フィジカル・ディスタンシングやマスクの着用をする必要がある。
- 野外活動の前後、参加者およびスタッフが手指の衛生管理を実践しているか確認する。清潔な流水が使用できない場合、手指消毒剤が使えるようにしておく。
- グループを少人数にして、毎日同じ参加者メンバーおよびインストラクターを割り当

てるよう検討する。
- すべての共有および使用済み器具（例：地図、双眼鏡、ハイキング用ポールなど）は、適切な方法に従い洗浄および消毒する必要がある。メーカーによるガイドラインおよびこのガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照すること。
  - 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数量を制限する。
- キャンプ期間中、それぞれの参加者に特定の器具を割り振り、共有する備品の数を減らすよう検討する。
- 宿泊やテント使用のキャンプでは、適切なフィジカル・ディスタンシングを保つ必要がある。詳しくは、このガイドの「住居（31-33ページ）」の項を参照すること。
- 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」にあるように調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

**屋内のアクティビティ**

アクティビティを選択および計画する場合は、上記の「管理」の項の「一般的なガイダンス」を参照する。

**屋内活動における一般的なガイダンス**

- 具体的な対策：フィジカル・ディスタンシングを保ちながら、スタッフやキャンプ参加者を安全に収容できる十分なスペースを確保する。
- 具体的な対策：スタッフおよびキャンプ参加者が屋内でのアクティビティ中にフィジカル・ディスタンシングが保てないとすれば、布製のマスクを着用すべきである。
- 具体的な対策：虫よけ網戸がある窓とドアを使って、最大限に新鮮な空気を取り込む、あるいは自然換気することで、室内の適切な換気が行われていることを確認する。

**パフォーマンスアート（スタンツ）**

- キャンプ参加者とインストラクターは、パフォーマンスアート（スタンツ）のアクティビティの前後に、推奨されるフィジカル・ディスタンシングと手指の衛生管理を適切に実施する必要がある。
- **次善策**：パフォーマンスアート（スタンツ）のアクティビティではグループの参加メンバーを毎回固定するよう計画し、各グループに同じインストラクターを割り当てることを検討する。
  - このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」のガイドラインに従う。
- **最善策**：パフォーマンスアート（スタンツ）のアクティビティは、同じグループメンバーおよびインストラクターと実施するよう制限する必要がある。
- すべての共有および使用済み器具（例：小道具など）は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照すること。

  - 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数量を制限する。
  - **最善策**：キャンプ期間中は特定の器具をそれぞれの参加者に割り振り、共有する器具の数量を減らすよう検討する。
- 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」に説明されている調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

### 創造的アートおよびSTEM

- すべて屋内で行う創造的アートおよびSTEM（科学教育プログラム）のアクティビティは、キャンプ参加者グループに対するフィジカル・ディスタンシングの指針および適切な衛生指導に従い実施する必要がある。屋外での実施を考慮する。
  - 具体的な対策：座席の間隔を広げ、フィジカル・ディスタンシングの実施を強調する必要がある。
  - **最善策**：技術/STEMプログラムでは人数を制限し、間隔を広げ、フィジカル・ディスタンシングを取り入れ、スタッフにマスクやフェイスカバーを着用させる必要がある。
- 毎回グループの参加メンバーを同じにするためアクティビティをまとめ、各グループに同じインストラクターを割り振ることを検討する。
- すべての共有および使用済み器具（例：工具、はさみ、筆など）は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。
  - 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の量を制限する。各アクティビティ中の共有を最小限に抑えるため、十分な備品があることを確認する。
  - **最善策**：キャンプ期間中、特定の器具をそれぞれの参加者に割りあて、共有する備品の数を減らす。
- 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」に説明されている調整された手順、標準的な運営手順に従う必要がある。

### サイト外への旅行-スタッフの休暇、遠足

パンデミック対策の目的は、対人接触を減らしコロナウイルスに感染する可能性を抑えることである。これはキャンプ場内のスタッフおよびキャンプ参加者がサイト外へ出る機会を制限することを意味する（例：スタッフの休暇など）。キャンプ中、スタッフとキャンプ参加者は敷地内にとどまることを推奨する。スタッフまたはキャンプ参加者がキャンプを離れた場合、このガイドの「第3章 スクリーニングと初期対応に関するガイダンス」にある手順通り、入場前にスクリーニングと検温を実施する必要がある。
キャンプ場間の競技会、グループ旅行、都市部への旅行など、すべての集団での遠出は中止することを推奨する。やむなしと考えられる旅行については、このガイドの「第9章 交通に関する検討事項」を参照のこと。また、キャンプ主催者は旅行に関する規制や命令に関し州やコミュニティの保健担当者と連絡を取ることを勧める。

## 参照先および資料

American Industrial Hygiene Association. *Reopening: Guidance for General Office Settings*. https://aiha-assets.sfo2.digitaloceanspaces.com/AIHA/resources/Guidance-Documents/Reopening-Guidance-for-General-Office-Settings_GuidanceDocument.pdf

National Safety Council. *First Aid Technical Bulletins*. https://www.nsc.org/work-safety/safety- topics/coronavirus/interim-cpr-guidelines

American Heart Association. *Interim Guidance for Life Support for COVID-19.* https://www.ahajournals.org/doi/pdf/10.1161/CIRCULATIONAHA.120.047463

National Collegiate Athletic Association. *COVID-19 Advisory Panel Exercise Recommendations.* http://www.ncaa.org/sport-science-institute/covid-19-advisory-panel- exercise-recommendations

American Red Cross. *Coronavirus (COVID-19): Prevention & Safety Information for Students*. https://www.redcross.org/take-a-class/in-the-news/coronavirus-prevention-information-for- students

## アクティビティタイプの具体的な対策、次善策、最善策

| アクティビティタイプ | 具体的な対策、次善策、最善策 |
|---|---|
| スポーツ＆<br>射撃アクティビティ | ●具体的な対策：すべての共有器具（例：弓矢、テニスラケットなど）は、使用またはプログラム直後に洗浄する必要がある。一日の終わりに洗浄および消毒を行う場合、すべてのスポーツおよび射撃器具に対しても実施する必要がある。<br>●次善策：可能なら、キャンプ場側で個人専用器具を参加者に用意する。すべての器具（例：弓矢、テニスラケットなど）は、毎回使用後直ちに洗浄および消毒する必要がある。一日の終わりに洗浄および消毒を行う場合、すべてのスポーツおよび射撃器具に対しても実施する必要がある。 |
| 水泳 | ●最善策：自由遊泳では、水泳のバディシステムのように参加者に常に一緒にいる「仲間」を割り当てるような水泳の安全ルールを用いる。 |
| | ●最善策：運動競技の場合、スイミングプールの約２.５ｍのコース幅を保ち、交代で泳ぐことで泳者同士の間隔を維持する。 |
| | ●最善策：各グループにはキャンプカウンセラーとして、毎回同じインストラクターを割り当てる。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」を参照すること。 |
| 小型ボートの<br>アクティビティ | ●具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数量を制限する。ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。アルコール系消毒スプレーをライフジャケットに吹き付け、空気乾燥させる。<br>●次善策：ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。乾燥機を使用し、60℃を超えない温度設定で完全に乾燥させる。使用前にアルコール系消毒スプレーをライフジャケットに吹き付ける。<br>●最善策：キャンプ期間中は特定の用具（例：ライフジャケットなど）を参加者それぞれに割り振り、共有する器具の数を減らす。 |
| | ●最善策：一般的に接触されるボートの表面は、使用するたびに洗浄および消毒する必要がある。メーカーの指示およびこのガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」の指示に従うこと。ロープやライフジャケットに漂白剤を使用しない。 |
| 乗馬アクティビティ | ●具体的な対策：すべての共有器具（例：馬具、ヘルメットなど）は、使用またはセッション直後に洗浄する必要がある。一日の終わりにすべての馬具とヘルメットを洗浄および消毒する必要がある。<br>●次善策：乗り手ごとに、本人専用の乗馬用手袋とヘルメットを用意する。<br>●最善策：このガイドの「安全性（56-57ページ）」に記載されている安全精度を高めながら、グループを小規模に保つ。 |
| 野外アクティビティ | ●具体的な対策：徒歩、自転車、またはその他の方法で移動する、車での旅行にとって代わるアクティビティを検討する。車、ワゴン車、またはバスでの移動中は、全員が布マスクを使用できるよう確認する。 |
| | ●具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数量を制限する。 |
| パフォーマンス<br>アート（スタンツ） | ●次善策：毎回グループの参加メンバーを同じにするようパフォーマンスアート（スタンツ）のアクティビティを計画し、各グループに同じインストラクターを割り振ることを検討する。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」に従うこと。<br>●最善策：パフォーマンスアート（スタンツ）のアクティビティは、決められたグループが同じグループおよびインストラクターと行うよう限定する必要がある。 |
| | ●具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の量を制限する。<br>●最善策：キャンプ期間中は特定の器具をそれぞれの参加者に割り振り、共有する器具の数量を減らすよう検討する。 |
| 創造的アートおよび<br>STEM | ●具体的な対策：座席の間隔を広げ、フィジカル・ディスタンシングの実施を推奨する必要がある。<br>●最善策：技術/STEMプログラムでは人数を制限し、間隔を広げフィジカル・ディスタンシングを取り入れ、スタッフにマスクやフェイスカバーを着用させる必要がある。 |
| | ●具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の数量を制限する。<br>●各アクティビティ中の共有を最小限に抑えるため、十分な備品があることを確認する。<br>●最善策：キャンプ期間中、特定の器具をそれぞれの参加者に割り振り、共有する備品の数を減らす。 |

# 第8章　キャンプでの感染防止対策に関するガイダンス

## フィジカル・ディスタンシングのためのグループ管理と感染拡大防止対策 -感染防止モデルの同心円-

感染症の拡大を抑え、 COVID-19の疑われるまたは確認された症例をより迅速に特定するため、スタッフとキャンプ参加者のグループ化を採用する方法を以下に示す。2009～2010年H1N1の経験と整合性を図り、2010年[1]、2020年4月16日[2]、2020年5月14日[3]に公表されたアメリカ疾病予防管理センター（CDC）、および米国小児科学会（AAP）[4]が提供するガイダンスに則って、少人数のグループを維持し、グループ同士の混在を制限し、キャンプでの大規模な集まりを制限する方針を推奨する。グループの混在を制限することは、感染の防止のための「同心円状」の感染者対応を可能にする公衆衛生的アプローチを当てはめて考えることができる。感染拡大を遅らせ、より小さなグループ内に容易に封じ込めることにつながる。より大きな集団で活動する場合でも、メンバーが見える小集団で構成されていれば、目に見えない参加者間の接触に対応することができる。感染拡大の際には、濃厚接触者を意味する「第1円」を迅速に特定できることが、ヘルス監視と隔離を強化するうえで最も重要である。グループの小型化とメンバーの固定化戦略を使用すれば、濃厚接触者の監視と隔離を迅速に実施できる。

キャンプディレクターは、できうる限りの最小の参加者グループを作り、このグループを「生活班（世帯）」として扱うことができる。この「生活班（世帯）」は、年齢別、日帰りまたは宿泊を伴うキャンプのプログラム別、あるいは、宿泊を伴うキャンプの就寝グループ別に事前に割り当てられ、キャンプ中を通して可能な限り固定している必要がある。「生活班（世帯）」は、大人数で行うアクティビティのため、他の「生活班（世帯）」に加わることができるが、キャンプディレクターは、特に建物内での大人数の集まりには感染症拡大の可能性があることを認識する必要がある。このように、いかなる集まりにおいても、対応策としては（「生活班（世帯）」ごとに）より小さなグループに分割し、グループの混在を最小限に抑えなければならない。そのためには、屋外プログラムを計画し、食事およびプログラムを変更し、「生活班（世帯）」同士のフィジカル・ディスタンシングを保ち、それが難しい場合（年齢や発育に合わせた）、マスクを用意することが必要となる。できうる限り屋外でアクティビティを行うことを推奨する。

---

[1] U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *H1N1*. https://www.cdc.gov/h1n1flu/camp.htm
[2] White House/U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Guidelines for Opening Up America Again*. https://www.whitehouse.gov/openingamerica/
[3] U.S. Center for Disease Control and Prevention. *Youth Programs and Camps During the COVID-19 Pandemic*. https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/Camps-Decision-Tree.pdf
[4] American Academy of Pediatrics, *COVID-19 Planning Considerations: Return to In-person Education in Schools*, https://services.aap.org/en/pages/2019-novel-coronavirus-covid-19-infections/covid-19-planning- considerations-return-to-in-person-education-in-schools/

参考文献

http://bokutoh-hp.metro.tokyo.jp/hp_info/11-1%20prevention.pdf

感染症リスクを最小限に抑える事と、キャンプの運営能力とのバランスを最適に 保つ最大適正人数を示すことはできない。またグループの最大規模は、キャンプの種類（日帰りか宿泊を伴うか）や、キャンプを通してスタッフとキャンプ参加者にCOVID-19の検査を実施する能力、キャンプとスタッフをより広範な地域からいかに遠ざけられるかによって異なる。キャンプは設置されている州および地域の大規模集会に関するガイドラインを遵守し、問い合わせがある場合、州および地域の公衆衛生機関に相談することを推奨する。前述のように、キャンプ中を通して固定されたメンバーによる「生活班（世帯）」で構成された大人数の活動は、感染拡大を抑える最善の方法であり、実際のグループの大小に関わらず考慮すべきである。

宿泊を伴うキャンプは、キャンプ期間中においては、地域コミュニティの内円あるいはバブル、またはシェルターとして機能することも考えられる（キャンプ期間中はキャンプ自体が地域コミュニティから切り離された「内円」「シェルター」とみなすこともできるので、その中に感染者がいなければ、安全な場所である）。

このアプローチは、キャンプの敷地内に感染症を封じ込めるのに役立つ。宿泊を伴うキャンプでは、感染者を特定する最小単位の「生活班（世帯）」という考え方と、「生活班（世帯）」単位で大人数グループを構成する事をすすめ、このことが感染拡大を防止またはスローダウンさせ、感染が発生した場合には監視と隔離を可能にすることができる。

パンデミック対策の目的は、いかに人同士の接触を減らし、新型コロナウイルスに接触する可能性を抑えるかにある。グループ間の交流をコントロールすることは以下の推奨される方法によって実施することができる。

**具体的な対策：**

- キャンプでは動きやすい最小サイズのグループを作り、キャンプを通して可能な限りグループの一貫性を維持する。
- 「生活班（世帯）」と呼ばれるグループやアクティビティに対して、可能な限り、同一のキャンプカウンセラーを割り当てる。
- グループ同士の混在を可能な限り最小限に抑える。
- グループを混在させる必要がある場合、屋外アクティビティ、建物内の換気強化、グループ間のフィジカル・ディスタンシング、年齢や発達に合わせたフェイスカバーの使用など、他の感染対策方法を検討する。グループの適正人数は、州や地域の要件に準拠している必要がある。スタッフに対するキャンプ参加者数の比率を適切にし、最小限のスタッフ配置要件を維持する必要がある。
- 親、保護者、および不要不急な訪問者の入場をできるだけ制限する。

**次善策：**

- キャンプでは活動しやすい最小サイズのグループを作り、キャンプを通して可能な

限り同じメンバーのグループを維持する。

- 参加者やキャンプカウンセラーを、寝食を共にする「生活班（世帯）」というグループに分ける。
- 「生活班（世帯）」がプログラムやアクティビティで混在が避けられない場合、アクティビティに邪魔にならず実用的であれば、フィジカル・ディスタンシングまたはマスクの着用など、他の対応策を検討する。
- できるだけ数の少ない「生活班（世帯）」でつくられた同じグループで、より大きな集まりを構成する。スタッフに対する参加者の比率を適切にし、最小限のスタッフ配置要件を維持するため、州または地域の要件に準拠している必要がある。
- フィジカル・ディスタンシングを保った「生活班（世帯）」で構成された大人数のグループによる食堂やジムなどのスタッフ組織を検討する。
- 厨房スタッフと清掃スタッフのやり取りを可能な限り最小限に抑えるため、シフトグループをAとBに分け、サポートスタッフのグループ化を検討する。清掃後にスタッフの交代を行う必要がある。
- 親、保護者および不要不急な訪問者の入場をできる限り制限する。
- 宿泊を伴うキャンプの場合、キャンプカウンセラーとスタッフの休暇中にはキャンプ場外のアクティビティを制限または詳細に把握するよう検討する。キャンプ場を離れて過ごす期間中、感染拡大を避けるために、日帰りキャンプおよび宿泊を伴うキャンプのスタッフ全員の意識を自主的に実施できる最善策に向ける。

**最善策：**

- キャンプでは動きやすい最小サイズのグループを作り、キャンプを通して可能な限りグループのメンバーの固定化を維持する。
- 生活、食事、入浴の活動に対して可能な限り、同一のキャンプカウンセラーを割り当てる。グループ同士の混在を可能な限り最小限に抑える。
- グループを混在させる必要がある場合、屋外アクティビティ、建物内の換気強化、グループ間のフィジカル・ディスタンシング、年齢や発達に合わせたマスクの使用など、他の緩和方法を検討する。
- グループのサイズは、州や地域の要件に準拠している必要がある。スタッフに対するキャンプ参加者数の比率を適切にし、最低限のスタッフ配置要件を維持する必要がある。
- 親、保護者、および不要不急な訪問者の入場をできるだけ制限する。

大人数の集まりには、小人数グループまたは「生活班（世帯）」で構成する。スタッフに対するキャンプ参加者の比率を適切にし、必要最低限のスタッフ配置要件を維持するため、州または地域の要件に準拠している必要がある。

- 特に室内の大人数の集まりは、感染拡大の可能性を高める。こうした大規模集会への対応策としては、次のように考えることができる。
- ・大人数のグループを小規模グループ（「生活班（世帯）」別）に分割する

・屋外でプログラムを開催する
・混在を最小限にするため食事のとり方やプログラムを変更する
・「生活班（世帯）」間のフィジカル・ディスタンシングを維持する
・（年齢や発達に応じて） マスクを着用する
・食堂施設の規模と「生活班（世帯）」間のソーシャル・ディスタンシングを保つ能力によっては、食事時間をずらすことを推奨する
・可能ならば、天候が許す限り「生活班（世帯）」ごとに屋外で食事をとることを検討する
・「生活班（世帯）」間の混在は、特にキャンププログラムの初日には避ける
・特定のキャンプの期間および検査状況により、特に2週間以上の宿泊を伴うキャンプでは、「生活班（世帯）」同士の交流を増やすことを考慮する

## 基礎疾患を持つキャンプ参加者およびスタッフに関するガイダンス

ホワイトハウスおよびアメリカ疾病予防管理センター（CDC）ガイドライン[1,2]によるとCOVID-19は新しい疾患であり、重度の疾患に対するリスク因子の情報は限られている。誰もが軽症にも重症にもなる可能性がある。CDCのキャンプの意思決定ツールは、キャンプを開催するかどうか決定する重要な基準を以下に示す：「重症化のリスクが高い子どもや従業員を保護する準備はできているか？」キャンプディレクターおよび運営者が、キャンプ参加者とスタッフに対し、かかりつけ医から参加する前に健康診断書を出してもらうため事前スクリーニングを実施するよう提案する。かかりつけ医は、現時点での当事者の健康状態とキャンプ環境への適合性に基づき、専門的な判断を下すことが最善の立場にある。この情報は、キャンプディレクターに、重症化のリスクが高い患者を保護するために必要な、あるいは適切と考えられる予防措置に関する情報を提供する。

### COVID-19の重症化リスクが高い人々

現時点の情報では、高齢者あるいは年齢にかかわらず重度の基礎疾患がある人々はCOVID-19の重症化リスクが高くなる可能性が指摘されている。COVID-19の重症化リスクが高いのは65歳以上で老人ホームあるいは長期介護施設に入所している人々である。

高リスクの患者には、あらゆる年齢の基礎疾患を有する人々が含まれる。特に、適切に管理されていない場合以下の人々が含まれる：

- 慢性の肺疾患を持つあるいは中等症から重度の喘息の患者
- 深刻な心臓疾患を持つ患者
- 免疫障害がある患者
  - がん治療、喫煙、骨髄あるいは臓器移植、免疫不全、管理不良のHIVまたはエイズ、コルチコステロイドの長期使用およびその他免疫を弱体化する治療など、免疫傷害の原因となる可能性がある多くの疾患
- 重度の肥満患者（BMI（体重指数）が40以上）
- 糖尿病患者
- 透析を受けている慢性腎疾患の患者
- 肝疾患のある患者
-

### 小児患者の多系統炎症症候群に関する最新情報

CDCをはじめとする医療専門家は、現在は小児発症性多系統炎症症候群（MIS-C）と呼ばれる稀な小児疾患とCOVID-19が関連する可能性を注意深く観察している。

---

[1] White House/CDC. *Guidelines for Opening Up America Again.* https://www.whitehouse.gov/openingamerica/
[2] CDC. *People Who Are at Higher Risk for Severe Illness.* https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/need-extra-precautions/people-at-higher-risk.html

2020年5月14日（木）、CDCは医療コミュニティに向け「コロナウイルス病2019（COVID-19）と関連する小児発症性多系統炎症症候群（MIS-C）」という注意書を発表した。

新しい疾患の性質に対し、公衆衛生および医療コミュニティはMIS-Cとその予後を密接に追跡および観察している。政府機関や医学文献などコミュニティからの発表をチェックし、この発展に関する現在の助言を追跡する。この情報が利用可能になればフィールドガイド が更新される。

# 第9章　交通に関する検討事項 ー キャンプ場への送迎

この章はキャンプ場まで直接送り届けるか途中の集合場所からキャンプ場へまとめて送るかにかかわらず、日帰りキャンプ、宿泊を伴うキャンプの両方に関連した情報である。

## 運営

### 到着時

- ３密を避け、参加者が一度にキャンプ場に集合しないように、到着スケジュールを作成する。
- 到着スケジュールは、参加者数や到着エリアの状況などによって異なる。到着エリアでは、時間を決め物理的な交流と密度を軽減することを目指す。
- 各参加者に到着可能な時間帯を割り当て親/保護者に通知する。時間帯を特定する目的を説明し、以下の対策を奨励する：
  - 交通の流れがとぎれないようにするため、お別れの時間を最小限に抑える
  - 車の近くや車内で、さよならを言う
  - 他の親/保護者およびキャンプ参加者とのフィジカル・ディスタンスを保つ
  - 車両から出るとき、マスク等を着用する
- 日帰りキャンプの場合：キャンプ参加者を毎回送り届ける親/保護者を1人に限定する。CDCガイダンスに従い、重症化リスクが高い人はキャンプ参加者を送迎しない。
- 最善策：アメリカ疾病予防管理センター（CDC）、世界保健機関（WHO）、その他の医療機関の関連するポスターおよび貼り紙を準備し、到着エリアに掲示する。このガイドの「第1章 キャンプ関係者とのコミュニケーションに関するガイダンス」を参照すること。例：
  - COVID-19情報
  - 手洗い
  - 咳エチケット
  - COVID-19に関連する症状
  - ウイルス拡散の防止
  - フィジカル・ディスタンシング

### キャンプ参加者およびスタッフの入場

- キャンプ参加者とスタッフが到着エリアに入場するとき、20秒間石けんと水で手を洗うか、少なくとも60%のアルコールを含んだアルコール系手指消毒剤を使えるようにする。
- キャンプ参加者が途中の集合場所で降車しキャンプ場に移動している場合、可能であればバスやワゴン車に乗る前に、降車場所でキャンプ参加者の最初の健康チェックを実施する。それ以外の場合、キャンプ場に到着したときに最初の健康チェックを実施する。「第3章 スクリーニングと初期対応に関するガイダンス」を参照すること。
- 参加者が直接キャンプ場に到着した場合、到着時にキャンプ参加者の最初の健康チェックを実施する。「第3章 スクリーニングと初期対応に関するガイダンス」を参

照する。
- **最善策：**キャンプ参加者を歓迎し、到着時に屋外で最初の健康チェックを行う。
- キャンプ場に到着したら、消毒用ウェットティッシュを配布し、ハンドルやその他の非多孔質（石、金属、プラスティックなど通水性のない素材）部品に特に注意しながら荷物の消毒を行うよう参加者に指示するか、あるいはトレーニングを受けたスタッフが消毒を行う。消毒剤の仕様については、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。

### キャンプ参加者およびスタッフの迎え

- ３密を避け、参加者が一度に集合しないように、出発スケジュールを作成する。
- 出発スケジュールは、参加者数や出発エリアの状況などによって異なる。出発エリアでは、時間を決め物理的な交流と密度を軽減することを目指す。
- 各参加者に出発可能な時間帯を割り当て親/保護者に通知する。時間帯を特定する目的を説明し、以下の対策を奨励する：
  - 交通の流れがとぎれないようにするため、乗車にかかる時間を最小限に抑える。
  - 可能であれば、車の近くや車内にとどまる。
  - 他の親/保護者およびキャンプ参加者とのフィジカル・ディスタンスを保つ。
  - 車両から出るときは、マスク等を着用する。
- **最善策**：親/保護者の車両にキャンプ参加者を案内するシステムを作成する。
- 日帰りキャンプの場合：キャンプ参加者を毎回迎えに来る親/保護者を1人に限定するメリットを親/保護者に伝える。CDCガイダンスに従い、重症化リスクが高い人はキャンプ参加者を送迎しない。

### バスおよびワゴン車

キャンプ参加者が途中の集合場所で降車しキャンプ場に移動している場合、以下のガイドラインに従う。

- 可能であれば、乗客のキャビン別に貨物室を備えたバスやワゴン車を使用する。
- 乗客から荷物を受け取るスタッフを特定し、受け取った荷物は保管場所に置き、後にすべての荷物を降ろす。この作業中、スタッフはマスク等と手袋を着用する必要がある。
- 「第9章 バスあるいはワゴン車の走行に関するガイダンス」を参照する。

### キャンプ参加者およびスタッフ

- 予定されている到着時間に確実に間に合うよう、早めに準備する。
- 降車のとき、別れのあいさつに時間がかかりすぎないようにする。他のキャンプ参加者が降車の順番を待っている。
- 車の近くや車内で、別れのあいさつをする。
- 他の親/保護者およびキャンプ参加者とのフィジカル・ディスタンスを保つ。
- キャンプに到着したら、ハンドルやその他非多孔質（石、金属、プラスティックなど通水性のない素材）の部品に特別な注意を払いつつ、アルコール拭きを使って手荷物

を消毒するか、スタッフが消毒するまで待つ。

### 親/保護者

- 送迎スケジュールに従い、割り当てられた時間帯内にキャンプ参加者を送迎する。スケジュールがかち合ってしまい困難な場合キャンプ運営者に連絡し、より都合の良い時間帯を選ぶ。
- 交通の流れがとぎれないようにするため、別れのあいさつに使う時間を最小限に抑える。
- 車の近くや車内で、別れのあいさつをする。
- 他の親/保護者およびキャンプ参加者とのフィジカル・ディスタンスを保つ。
- 車両から出るときは、マスク等を着用する。
- 毎回キャンプ参加者を送り届ける1人の親/保護者を指定する。CDCガイダンスに従い、重症化リスクが高い人はキャンプ参加者を送迎しない。
- キャンプ参加者全員が出発するとき、20秒間石けんと水で手を洗うか、少なくとも60%のアルコールを含んだアルコール系手指消毒剤を使えるようにする。
- 一般的に、家庭内での良好な呼吸器衛生/咳エチケットの指導と練習を実施する。

### 車両の運転者

「第9章 バスあるいはワゴン車の走行に関するガイダンス」のガイダンスを参照のこと。

### 参照先および資料

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Guidance for Childcare*. www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/guidance-for-childcare.html#pickup

## バスおよびワゴン車の走行に関するガイダンス

以下に、バス、ワゴン車、またはその他の公共車両での移動中に推奨される一般的なガイダンスと手順を示す。キャンプ運営者、運転手、乗客（例：キャンプ参加者およびスタッフなど）、管理スタッフのための推奨事項が記載されている。

注：車両を使用する輸送は、必要な場合のみ推奨される。他の手段（ウォーキング、ジョギング、サイクリング、ハイキングなど）で目的地に合理的に到達できる場合、そのような代替手段を使った目的地までの旅行を計画することが有益かもしれない。

### 運営

- 運転手という重要な職務のために、資格を持ち、トレーニングを受け、免許を持つスタッフの名簿を作成する。
- 使い捨て手袋、マスク、および清掃用品を保管する。こうした備品の配布、廃棄、洗浄（該当する場合）、および再補充の計画を作成する。
- 輸送スタッフに、呼吸器疾患の症状を上司またはキャンプ運営者に報告するよう指示する。
- **最善策：**交通関連の従業員全員は、勤務開始時に病気の兆候がないかどうかを検査する。
- 病気の従業員は自宅にとどまるよう積極的に促し、病欠に柔軟に対応する。
- スタッフと参加者のために石けん、清潔な流水またはアルコール系手指消毒剤、マスクを用意する。スタッフと参加者のために、適切な手洗いと消毒手順のトレーニングを行う。
- **最善策**：車両運転手は、乗客を運ぶ際にN95マスクを着用する必要がある。従業員は、健康診断、適合テスト、N95マスクを着用するためのトレーニングを毎年受ける必要がある。
- 車両の洗浄のため、EPA承認の消毒剤を保管スタッフに提供する。
- 可能であれば、より大きな車両あるいはより多数の車両を使い、乗客がより長いフィジカル・ディスタンスを保てるようにする。
- 利用可能な座席数を減らして、乗客間のフィジカル・ディスタンスを広げる。貼り紙、ステッカー、色付きの紐、テープなどを使用して、使用しない座席に印を付ける。
- **最善策：**運転者のソーシャル・ディスタンスを保つため、前方の席は数列使用できない状態にしておく。
- 同じ車両を何度も使用する場合、キャンプ参加者に座席を割り当て、毎回同じスペースに座ってもらう。使用する前に、車両を洗浄および消毒する。
- 可能であれば、運転手と車両の他の部分との間に透明な防水性バリアを設置した車両を探す。アクリルガラス、あるいは柔軟なプラスチックシートなどがふさわしい。この装置はメーカーおよび車両の安全ガイドラインに従ってのみ使用すること。
-

### 乗車するキャンプ参加者とスタッフ

- 病気の場合またはインフルエンザのような症状が見られる場合、乗車しない。
- バス、ワゴン車、あるいは車両に乗る前、手を洗うか消毒する。
- 衛生的な習慣：咳やくしゃみは袖で押さえ、口、鼻、目に触れない。
- 可能であれば、乗客間の距離を離し、フィジカル・ディスタンスを保つ。
- 乗車中はマスクを着用する。
- 車両に再乗車する場合、毎回同じ座席または割り当てられた座席に座る。
- 降車する際は、すべての荷物を降ろしごみをすべて廃棄する。

### 車両の運転者

- 病気の場合またはインフルエンザのような症状が見られる場合、運転しない。
- 最低限、マスクを着用する。マスクが視界や車両の安全運転を妨げないようにする。
- 適切な手袋を着用する。手袋が車両の安全運転を妨げないようにする。
- **最善策：**N95マスクを着用する。従業員は、健康診断、適合テスト、N95マスクを着用するためのトレーニングを毎年受ける必要がある。保護マスクが視界や車両の安全運転を妨げないようにする。
- 乗客とのやり取りを制限し、フィジカル・ディスタンスを保つ。
- 可能で安全な場合、運転者はキャンプ参加者の乗車前に窓を開ける必要がある。窓が開けられない、あるいは開けると不快な場合、換気システムを最大に設定する。車内の空気を再循環させない。
- 作業シフトや休憩の前後、また頻繁に接触がある箇所に触れた後は、石けんと水を使って20秒以上手を洗うか、アルコール系手指消毒剤を使用して手を消毒する。

### 清掃・洗浄および消毒の担当者

- 病気の場合またはインフルエンザのような症状が見られる場合、作業しない。
- 使い捨て手袋とマスクを着用する。
- **最善策**：清掃・洗浄および消毒の際に使い捨てガウンを着用する。
- 車両を毎日洗浄および消毒する。
- **最善策**：1日の使用前後に、必ず車両を洗浄および消毒する。
- 利用者のグループが変わるたびに、または走行ルートが変わるたびに、車両の一般的に接触する箇所を常に洗浄および消毒する。
- 硬い非多孔質の箇所（硬い座席、取っ手、ドア、窓など）が汚れている場合、消毒する前に洗剤または石けん水で洗浄する。
- 以下のものを使用し、硬い非多孔質の表面を消毒する：
  - 新型コロナウイルスSARS-COV-2に対して使用するEPA承認抗菌性製品。
  - 希釈した家庭用漂白剤。4リットルの水に対し大さじ5杯（カップ1/3）の漂白剤または1リットルの水に小さじ4杯の漂白剤を加える。アンモニアベースの溶液と併用しない。
  - 少なくとも70%以上のアルコールを含むアルコール系溶液。
- 柔らかいまたは多孔質の面（布張りの座席、室内装飾品、カーペットなど）が目に見

えて汚れている場合、適切な洗剤を使って洗浄し、次に新型コロナウイルスSARS-COV-2に対して使用するEPA承認抗菌性製品を使用し、柔らかいまたは多孔質の面を消毒する。

- 頻繁に触れる電気系統の部品（例：キャビン制御、タッチスクリーン、照明など）が目に見えて汚れている場合、電子機器に対して使用できる製品を使って洗浄する。
- メーカーの推奨事項に従い、電気機器の表面を消毒する。なければ、70%以上のアルコールを含むアルコール系溶液を使用する。
- 降車直後に、手袋、マスク、ガウン（該当する場合）を取り外して廃棄する。
- 清掃・洗浄および消毒の直後（そして休憩前）、石けん水で手を20秒以上洗浄するか、アルコール系手指消毒剤を使って手を消毒する。
- 使い捨てガウンを着用していない場合、直ちに適切な暖かい水を使用し着用した布製品（または制服）を洗濯し完全に乾燥させる。汚れた洗濯物を扱った後、直ちに手を洗う。洗濯のやり方の詳細については、「**洗浄方法**（50-52ページ）」の項を参照する。
- 詳細については、洗浄および消毒におけるCDCガイダンスに従う。

**詳細情報：**

アメリカ疾病予防管理センター　バスの運転手
www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/organizations/bus-transit-operator.html

アメリカ疾病予防管理センター　輸送用車両の消毒
www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/organizations/disinfecting-transport-vehicles.html

# 第10章　キャンプスタッフ用個人防護用具（PPE）計画

この章では、キャンプスタッフの個人用保護具（PPE）に関する指針を説明する。

## 用語と定義

**保護メガネ**：ゴーグル、安全メガネ、および顔の眼部の前面と側面を完全に覆って着用者の顔の一部が物質に接触しないようにする、再利用可能な使い捨てフェイスシールドを指す。

**マスク**：着用者の口と鼻の上に着用する保護具で、周囲の状況にある汚染物と着用者の口と鼻の間に物理的な保護壁を作る。一般的に、マスクは吸入中の着用者にフィルタリングの効率や保護を十分に提供するものではなく、咳、くしゃみ、会話、呼吸をする際に着用者からの飛沫拡散阻止に役立つということに留意すること。マスクは、コロナウイルスから保護するためのPPEとは見なされない。例：布製マスク、外科マスク、バンダナなど。布製のフェイスカバーは、呼吸系の疾患がある、意識不明、身体障害がある、またはマスクを自力で外せない人に着用させないようにする。

**N95マスク：**使い捨ての保護マスクで、適切にフィットし、着用・維持された場合、吸入時に周囲の環境にある少なくとも95%の粒子状物質（咳、くしゃみ、会話、呼吸によるウイルスを含む飛沫など）の粉じん捕集効率を有している。防塵マスク、布製マスク、および外科用マスクは、この定義に相当しない。

**個人用保護具（PPE）**：病気や怪我の原因となる危険にさらされる機会を最小限に抑えるため着用する特定の器具を指す。COVID-19パンデミック期間中にキャンプに関連するPPEには、目の保護、N95マスク、使い捨て手袋、使い捨てガウンなどがある。

**保護マスク**：適切にフィットしていれば特定の危険物質（ガス、蒸気、粒子状物質）から着用者を保護する、口と鼻の上に装着する器具を指す。例：N95マスク。注：すべての保護マスクがすべての危険を除去できるよう設計されているわけではない。保護マスクが除去する特定の危険を理解することは、保護マスクを着用者に提供する者および着用者自身の責任である。

## 管理

### 基本方針

- 必要なPPEは、使用する場所の近くに保管する。
- 保護マスク（例：N95マスクなど）は、アメリカ労働安全衛生管理局（OSHA）の規定に従い、毎年の医学的なチェック、トレーニング、および適合検査が必要となる。
- マスクは主催者が十分に用意しておき、キャンプカウンセラーとスタッフは1.8mより近い間隔内で他のグループと交流するときはいつでも着用する。フィールドガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」を参照する。

- **最善策：**乾燥した鍵をかけられる保管場所にPPEの在庫を保管し、環境温度が極端に高くならないようにする。配布するのは、N95マスクの適切な使い方を理解している特定の責任あるスタッフのみに限定する。
- キャンプが運営されている州にOSHA（労働安全衛生管理局）承認の職場安全衛生プログラム（「州計画」と呼ばれる）がある場合、キャンプの職場に適したPPE計画および手順を進展させるため、これらの情報源につながるガイダンスを求める。

### トレーニング

- スタッフ全員（キャンプカウンセラー、医療スタッフ、厨房/食堂スタッフなど）が、それぞれの保護レベルに関連するPPEおよびマスクの着脱、維持、廃棄の正しい方法のトレーニングを受けられるよう手配する。
- スタッフに、手袋を外した後の手の衛生管理トレーニングを実施する。「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」の中の 「**手の洗い方**（23ページ）」を参照する。
- **最善策：**特定の業務に必要なさまざまな種類のPPEについて、初期トレーニングと再教育トレーニングの両方を実施し、必要な理由を説明する。これにより、PPEの効果的な使用と保存が可能となる。

### 供給

- COVID-19のパンデミック期間中は、すべてのPPEが不足する可能性がある。PPEの補給を最適化する方法について、以下の項目を含むアメリカ疾病予防管理センター（CDC）のガイダンスを参照する：
  - N95マスク
  - マスク
  - 保護メガネ
  - 使い捨てガウン
  - 使い捨て手袋
- N95マスクの代用品：一部の研究では、輸入されたKN-95マスクなどの代替品の捕集効率は、承認されたN95と必ずしも同等ではないと判断されている。N95マスクの供給がない場合にのみ、代替品を検討する必要がある。場合によっては、95%の捕集効率に近いN95またはKN-95マスクの代用品を使用するか検討できる。もしN95マスクの供給が不十分だと思われる場合、ふさわしい代用品についての専門家のアドバイスを受ける必要がある。
- CDCのPPE燃焼計算ツールを使用し、キャンプに必要なPPEの量を決定する。
- N95マスク、ガウン、手袋などの使い捨てPPEを再使用することは推奨されていない。
- 再利用可能な素材（例：布、スカーフ、バンダナなど）で作られたマスクは、定期的に洗濯する必要がある。「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」の「**洗濯**（53-54ページ）」を参照する。
- **最善策：**PPEの在庫を監視および記録し、補充の必要性を予測する。マスクは共有しない。再利用可能なマスクは使用後に洗濯する。

### キャンプスタッフ

#### いつ何を着用すべきか

スタッフに対するPPEの必要性は、業務、適切なフィジカル・ディスタンスを保てるかどうか、およびCOVID-19の患者あるいは疑わしい症例との接触の可能性により異なる。PPEの供給を適切に確保するため、キャンプ再開計画の一部として特定の使用シナリオを考慮することが重要である。PPEの詳細なガイダンスについては、「第10章 キャンプスタッフ用個人防護用具（PPE）計画」を参照のこと。

- COVID-19が確認されたあるいは疑わしい症例とスタッフが接触または接近すると予測される場合、あるいはCOVID-19が確認されたあるいは疑わしい症例との接触があった、あるいはあったと思われるエリアを清掃・消毒するとき、N95マスクと保護メガネまたはフェイスシールドを着用する必要がある。
- マスクは専門的なPPEではないが、以下の状況で着用する必要がある：
  - キャンプカウンセラーが長時間（15分以上）2m以内で他の人とのやり取りがある場合、その他の場面でもできる限り着用する。
  - 厨房スタッフは常にマスクを着用する。「第5章 食品サービスに関するガイダンス」を参照する。
  - 管理スタッフが清掃・洗浄および消毒を行う際、必ずマスクを着用する。「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。
  - スタッフは、フィジカル・ディスタンシングを維持できない場合、外部の業者および外部コミュニティ関係者とやり取りする場合、布製マスクを着用する必要がある。
- 使い捨て手袋を着用するのは：
  - COVID-19の症例が確認されたあるいは疑わしい症例との接触を予測するか、または確認されたあるいは疑わしい症例と接触があったとわかっている所持品を扱うキャンプカウンセラー。
  - **最善策：**キャンプカウンセラーは、消毒の前に持ち物や器具を取り扱う場合手袋を着用する。
  - 厨房スタッフは、食品の準備と保管に関する既存の最善策に従う必要がある。コロナウイルスは食品媒介ではないが、食品サービスの従業員が感染すると、同僚や食堂利用者にウイルスを拡散する場合がある。「第5章 食品サービスに関するガイダンス」を参照する。
  - 保管スタッフは、洗浄および消毒の際に必ず使い捨て手袋を着用する。「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。

#### PPEの使用方法

PPEの着脱手順は、使用する器具の種類、状況、目的によって異なる場合がある。保護マスク、マスク、手袋、保護メガネ、使い捨てガウンの使用については、スタッフに詳細なトレーニングを提供する必要がある。以下の項目は、一般的な手順である。

**着用する場合の手順：**

1. PPEの各パーツが正しいサイズであることを確認する。
2. 手の衛生管理：石けんと水を使用して20秒以上手を洗うか、アルコール系手指消毒剤を使用して手を消毒する。
3. 使い捨てガウン（該当する場合）を身に着け、すべてのストラップを結ぶ。
4. 保護マスクまたはマスクを着用する（該当する場合）。
   a. 保護マスク：トップストラップは頭頂部に、ボトムストラップは首の下部に配置する必要がある。保護マスクにノーズワイヤーが付いている場合、両手で鼻にフィットさせる。ユーザーシールチェックを実施する。
   b. マスク：製品によって異なる：メーカーの指示に従いストラップを固定または配置する。
5. フェイスシールドまたはゴーグルを着用する。
6. もう一度適切な手の衛生管理を実施する。
7. 手袋を着用する。
   a. **最善策**：
      1) 使用前に穴や裂け目がないか点検する
      2) 手袋を外した後は、同じ手袋を再使用しない
      3) 破損した手袋は直ちに交換する

**取り外す場合の手順：**

1. ストラップをほどいて肩の部分をつかみ、体から引きはがしてゴミ箱に廃棄する。
2. 安全な取り外しの方法（例：グローブイングローブやバードビークなど）を使って手袋を外し、手が汚染されないようにする。
   a. ：該当する場合、適切な手袋の取り外し方法が記載された貼り紙を掲示する。
3. 手の衛生管理を行う。
4. ストラップをつかみ持ち上げて頭部から外すように、フェイスシールドまたはゴーグルを取り外す。フェイスシールドまたはゴーグルの前面に触れない。
5. 保護マスクまたはマスクを取り外し、前面に触れないようにしながら廃棄（使い捨ての場合）または洗濯する。
   a. 保護マスク：ストラップだけをつかみ、頭上に持ち上げてボトムストラップを取り外す。ストラップだけをつかみ、頭上に持ち上げて前面に触れずにマスクを顔から取り外しトップストラップを取り外す。
   b. マスク：製品によって異なる：メーカーの指示に従いストラップを外すかまたはほどき、前面に触れずにマスクを顔から外す。

6. 手の衛生管理を行う。
7. **最善策**：使用するすべてのPPEのために、洗浄エリア、廃棄エリア、ゴミ箱を用意し、適切なラベルを付ける。

## 参照先および資料

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Caring for Someone Sick at Home or Other Non-Healthcare Settings.* www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/if-you-are-sick/care-for-someone.html

U.S. Occupational Safety and Health Association. *Personal Protective Equipment.* www.osha.gov/SLTC/personalprotectiveequipment/

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Using Personal Protective Equipment (PPE).* www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/hcp/using-ppe.html

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *How to Remove Gloves*. www.cdc.gov/vhf/ebola/pdf/poster-how-to-remove-gloves.pdf

# 2020年のキャンプシーズンに向けて推奨されるキャンプ用品と資料

Environmental Health & Engineering, Inc.（EH&E）は、フィールドガイドの作成に関する情報の再考察を開始し、問題とならないよう確認するため早急に対処するよう推奨する、潜在的な制限要因を特定した。潜在的な制限要因は、現在キャンプの現場にない可能性がある重要な供給品である。ここでは、現在不足しているいくつかの重要品目の最初のリストを示す。キャンプメンバーがこの夏にキャンプを開催し準備するため必要だと考えられるキャンプ用品である。キャンプが直ちに戦略的に発注を開始すれば、開始時およびシーズン中に十分な供給を確保できるはずである。以下の品目が含まれる：

- **ハンドソープ**—通常のキャンプシーズンより約50%増の発注を予測。例：通常4リットル購入している場合、6リットル発注する。
- **EPA承認済みの洗剤**— https://www.epa.gov/pesticide-registration/list-n-disinfectants-use-against-sars-cov-2-covid-19 .EH&Eでは、取引のあるキャンプ用品業者や清掃業者/スタッフと協力して洗剤を特定し発注するよう推奨する。複数のブランドおよび製品ラインを発注する必要があると考えられる。製品情報の説明をサポートする。通常のキャンプシーズンより約100%増やして注文する。例：通常40リットル購入している場合、80リットル発注する。
- **手指消毒剤の供給と配置**-1日あたりキャンプ参加者やスタッフ1人につき 15ミリリットルの発注を予測する。例：キャンプに100人いる場合、1日約1.5リットルが必要となる。
- 表面洗浄**および消毒用ウェットティッシュ**—通常のキャンプシーズンよりも約100%増やして注文する。例：通常10箱購入する場合、20箱注文する。
- **ペーパータオル**—通常のキャンプシーズンより約50%増の発注を予測。例：通常100ロールを購入する場合、150ロールを注文する。
- **洗浄スプレーボトル**—米国環境保護庁（EPA）承認洗剤の希釈、混合、および適用に必要な場合がある。1棟につき1～3本のボトルを注文する。

**キャンプ医療スタッフのための個人用保護具（PPE）備品**

EH&E社は、キャンプでこの種の備品の大量在庫が必要であるとは予測していないが、Covid-19の症候を示す患者の世話をする必要がある現地の医療スタッフが十分に使用できるようにする。以下に挙げる備品は、キャンプ開催時に使用できる「スターターパック」と見なされる。各キャンプの医療スタッフの人数に基づき見積もられているので、より多くの医療スタッフがいる大規模なキャンプでは、より多くの備品を注文する必要がある。例：医療スタッフが5人いるキャンプでは、以下の推奨供給数を5倍にする。医療スタッフ1人につき最初の現地供給在庫の推奨事項は以下の通りである：

- N95マスク—医療スタッフ1人につき5個
- 使い捨て外科用マスク—医療スタッフ1人につき50個
- ニトリル検査用手袋—医療スタッフ1人につき200枚
- 使い捨て安全ガウン—医療スタッフ1人につき50着
- フェイスシールド：医療スタッフ1人につき2枚
- 医療廃棄物処理用のフタ付きゴミ箱—オフィスあるいは検査室ごとに1個
- 適切な体温計—医療スタッフ1人につき2個

各キャンプでは、すべての医療スタッフの備品が従業員の臨床要件を満たしているか確認する必要がある。キャンプで推奨されている器具のいずれかを入手できない場合、推奨されるPPEの代替品を判断するためEH&Eを利用できる。

日本語版監修　公益社団法人 日本キャンプ協会

会長　平田 裕一

委員　今井 正裕

鈴木 由美

高見 彰

中村 正雄

野口 和行

針ヶ谷 雅子

依田 智義

2020年6月18日